

# マリア・モンテッソリ年譜 (改訂版)

甲斐仁子

## 年譜作成にあたって

モンテッソリ教育(教育法)は、イタリアの女医マリア・モンテッソリ(Maria Montessori, 1870-1952)によって、考案され提唱されたものである。1907年に開設された『子どもの家』での実践が高く評価され、多くの国々に波及し、モンテッソリ・メソッドとして確立した。主導者であるモンテッソリ女史没後も、異なる文化社会の国々で導入され、多くのモンテッソリ・スクールが存在する。このように、ある特定の教育理論や方法が、長期間にわたり、世界各国において展開されることは類い希な現象といえる。「モンテッソリ教育・教育法とは、一体何なのか」という疑問に対し、年譜は基本的な示唆を与えるものとなるだろう。モンテッソリ女史自身の思考形成過程、時代背景要因と連動する女史の活動、教育内容や方法の試行と変化、モンテッソリ教育に影響を受けた人物(与えた人物)など、年譜作成に研究的意義を見いだすことができる。自伝が存在せず、女史を語る書物も非常に少ないという研究的限界をふまえ、さらに、付記にも述べるとおり、多くの課題が残されていることも念頭におきたい。

1. この年譜は、マリア・モンテッソリ(Maria Montessori, 1870-1952)に関する事項および主だった文献を年代ごとに著したものである。本稿は、拙論「モンテッソリ年譜」(甲斐、1986)に加筆・修正をした改訂版である。作成にあたっては、記載した文献を用いた。特に、基盤となる主要文献としては、広範囲における文献資料をもとにジャーナリストとしての資質を生かしたりタ・クレマー(Rita Kuramer)の原書 *Maria Montessori Her life and work* (Kuramer, R., 1983) および日本語訳『マリア・モンテッソリ こどもへの愛と生涯』(リタ・クレマー、1981)を用いた。また、モンテッソリ女史と行動を共にしたエドウィン・モーティマー・スタンディング(Edward Mortimer Standing)の著書 *Maria Montessori; Her life and work* (Standing, E. M., 1962) および日本語訳『モンテッソリの発見』(E. M.スタンディング、1975)、アンマ・マッケローニ(Anna Maria Maccheroni)によって著されたモンテッソリに関する伝記的な文献とされている『モンテッソリ博士との出会い』(Come Conobbi Maria Montessori) (アンナ・マッケローニ、1979) (Maccheroni, A. M., 1947)を用いた。
2. モンテッソリの著作および文献資料に関して不明瞭な点が多く、正確な年譜作成には至っていない。すなわち、現在確認されているモンテッソリ自身の著作とされるものは、イタリア語などから外国語に訳された著作や講演内容で構成されており、原書および訳本の出版年・訳者、講義や講演の場所・日時・記録者などを含め確実性に乏しいためである。
3. 年譜表においては、文献名・年代・掲載誌などの最小限の記載にのみとどめ、詳細な情報は割愛した。さらに、モンテッソリ教育に関する多くの論文や著書などがNAMTAによっても調査されているが(Boehnlein, M. M., 1986, 1994)、年譜作成上必要であると思われる文献のみ表記した。また、1952年までの文献にとどめている。
4. 欄中事項の記載に関する凡例に関して、欧文は、APA様式(Publication Manual of the American Psychological Association)をとっている。原文が把握できるものは、原文のイタリア語で記し、さらに( )内に英語訳を記した。英語やドイツ語などに訳された文献をさらに日本語訳することは誤訳を生じることも考えられたため、日本語訳での文献および著作の表記は、敢えてしていない。
5. この年譜作成に関する文献は、末尾に参考文献として掲載した。

## マリア・モンテッソリ (Maria Montessori, 1870~1952) 年譜 (改訂)

年代	年齢	事 項	主だった著書・論文・その他の事項
1870年8月31日		父 Alessandro Montessori、母 (旧姓 Renilde Stoppani) の長女として、イタリアの Ancona 地方の Chiravalle に誕生。	
1873年	3	Florence へ移動。	
1875年	5	父の転勤によりローマに転居。	
	6	公立小学校 Via di San Nicolo da Tolentino 入学。	
1883年 秋	13	国立の工科学校 Regia Scuola Tecnica Michelangelo Buonarroti 入学。	工科コースにて、イタリア文学・歴史・地理・数学・製図・習字を選択する。
1886年 春	16	上記学校を全科目高得点で卒業する。 国立工科大学 Regio Istituto Tecnico Leonardo da Vinci 入学。	技師を志し、現代国語・自然科学を学ぶ。後に、医学を志すようになり、当時のローマ大学臨床医学教授・下院議員 Guido Baccelli を訪問する。
1890年 秋	20	物理学・数学・自然科学の学生として、ローマ大学に入学 (動物学・植物学・物理学・化学を学ぶ)。	
1892年 春	22	イタリア語・ラテン語を含む試験に合格し、資格認定証 Diploma di licenza を取得、医学部進学課程 (科学研究2年間、その後4年間の解剖学・病理学・臨床研究コース) へ進級する。	Achille De Giovanni、Cesare Lombroso、Giuseppe Sergi 等の研究者から、医学・教育学・身体測定学・教育人類学を学ぶ
	春	ボルゲーゼ邸庭園 Villa Borghese garden の花祭りで、Margherita 女王に手書きの旗と花束を贈呈する。	
1894年6月		内科・外科の学生に毎年授与される 1000 リラの奨学金とロリ賞を Rolli Foundation から授与される。	
1895年~		大学付属病院助手を獲得し、臨床経験を積む (卒業後、同病院の医師として招聘される)。小児病院 Children's Hospital で小児科を勉強すると同時に、婦人病院 S. Salvatore al Laterano、サッシアの男性専科病院 Ospedale Santo Spirito for men で医師候補生として勤務。	リジア神経クリニック Regia Clinica Psichiatrica で、卒論研究資料収集。
1896年 春		精神医学を主とする卒業論文*、被害妄想。偏執病に関する論文を提出する。	*Montessori, M. (1896). Contributo clinico allo studio delle Allucinazioni a contenuto antagonistico (A clinical contribution to the study of delusions of persecution).
	7月10日	26 ローマ大学医学博士号 (a doctor of medicine and surgery) を授与される。 大学付属 San Giovanni Hospital の助手となる。	Montessori, M. (1896). Sul significato dei cristalli del Leyden nell'asma bronchiale (The significance of the crystals of leyden in bronchial asthma), <i>Bollettino della Società Lancisiana degli Ospedali di Roma</i> , 15(2), Rome.

8月	26	ベルリンで9月20日-24日に開催される国際女性会議のイタリア使節団の一員に選出される。ドイツ、アメリカ、デンマーク、イギリス、フィンランド、オランダ、イタリア、オーストリア、ペルシア、ポルトガル、アルメニア、インド、スペイン、スイスから500名の女性が参加。9月21日および23日のモンテッソリの演説は高く評価される。	精神医学に関する論文： Montessori, M. (1897). Ricerche batteriologiche sul liquido cefalo-rachidiano dei dementi paralitici (Bacteriological research on the cephalo-rachitic liquid in paralytic insanity), Rome.
9月21日		上記の国際女性会議第1回講演：女性解放グループ・女子教育の進歩について。	
9月23日		上記の国際女性会議第2回講演：働く女性の状況に関して。	
11月		Santo Spiritoの外科助手に任命される。小児病院勤務、個人開業、San Giovanni Hospital 助手。	Seguin, E. (1846). Traitement moral, Hygiène, et Education des Idiots et des autres Enfants arrières (The Moral treatment, hygiene, and education of idiots and other backward children). Seguin, E. (1866). Idiocy and its treatment by the physiological method. US.
		ローマの保護施設 Rome asylums に収容されている知能の低い子どもに関心を抱く。精神的に欠陥のある子どもに関する文献を読破する。Jean-Marc-Gaspard Itard および、彼の弟子 Edouard Seguin の業績と出会う。	
1897年～		ローマ大学精神科 Clinica Psychiatric of the University of Rome でボランティア助手となる (Mario の父親とされる Dr. Guuseppe Montesano が同僚として勤務)。	
1897年～1898年		聴講生として教育学のコースに出席し、過去200年間の教育理論に関する主要論文に読破する。	
1898年3月31日		Mario Montessori を出産する。	
9月	28	トリノ Turin 開催の医学会議 national medical congress で講演を依頼される。非行原因探求の必要性を語る。	政治評論誌 <i>Roma</i> に掲載された演説内容は、後日、改題され教育誌* に掲載される。 Montessori, M. (1898, Dec. 7 & Dec. 17). Miserie sociali e nuovi ritrovati della scienza (Social miseries and new scientific discoveries), <i>Il Risveglio Educativo</i> , Milan.
9月		公立学校を主題とする教育会議 national Pedagogical Congress に出席している約3000人の教師に講演をする。	
9月中旬		上記の Turin 教育会議での議決に応じて、教育大臣の Guido Baccelli は、1899年1月から Collegio Romano の教師養成校で、発達遅れた子どもに関する特別教育法の講義をモンテッソリに依頼する。医療教育施設の必要性を説く。	1898年末までに、Clodomiro Bonfigli 教授を委員長とした国立医療教育施設設立資金のために全国連盟 National League for the Education of Retarded Children が組織される。モンテッソリによって、連盟設立の報告・目的の記事が新聞や雑誌に掲載される。
1899年2月中旬		発達遅れた子どもの教育全国連盟のためにミラノ、パドバ、ベニス、ジェノバなどへ2週間の講演旅行をする。講演の収益金は、地域の運動資金とされた。	Montessori's Address: The new women.

年代	年齢	事項	主だった著書・論文・その他の事項
1899年6月		上記全国連盟の理事に選出される。理事長 Clodomiro Bonfigli 教授、名誉理事長 Guido Baccelli 教授。	
6月		イタリア代表として国際婦人会議 international congress of women に主席するためロンドン訪問。宮廷にて、Victoria 女王主催の歓迎行事を受ける。	英国の精神発達の遅れた子どもの福祉を促進する協会の会員に講演をする。
秋	29	イタリアの国立上級女子師範学校 Regio Istituto Superiore di Magistero Femminile の衛生学と人類学の講師を任命される。教育学と道徳の卒業試験委員に任命される。	
1900年春		発達の遅れた子どもの教育全国連盟による医療教育施設 Manicomio di Roma がローマに開設される。Dr. Guuseppe Montesano と共に責任者に任命される。	
7月		上記医療教育施設での第1期が終了し、成果発表報告。教育省役人、連盟、市議会議員、ローマ大関係者、下院議員などが出席、3ヶ月間でなした成果に驚嘆する。	
1901年	30	診療、上記の連盟および学校などの総ての仕事から退く。 人類学・実験心理学・教育哲学の研究に没頭する。 ローマ大学哲学科の学生として再入学。ヘルバルトやヴントなどのドイツ観念論に影響を受けた当時の心理学、教育学・衛生学・実験心理学のコースを修め、人類学の研究を行う。	
1902年		ナポリで開催された第2回 National Pedagogical Congress で、医学と教育学の成果「特殊教育法における障害児分類の諸規則」を報告する。 イタールやセガンの著書を手書きでイタリア語に翻訳する。1866年版の英国で出版されたセガンの著書を米国の友人から入手する。	Montessori, M. (1902). Norme per una classificazione dei deficienti in rapporto ai metodi speciali di educazione (Rules for a classification of deficient with reference to a special method of education).
1903年		イタリア赤十字の第一級医学助言者となる。	
1904年12月 ～1908年		恩師のローマ大学教授 Giuseppe Sergi の推薦により、ローマ大学教育学部 Pedagogic School of the University of Rome で自然科学と医学のコース担当を任命される（受講生のなかに、Anna Maccheroni がいた）。国立上級女子師範学校 Istituto Superiore de Magistero Femminile においても、1906年まで教授。  人類学の自然科学の学位を授与する試験委員に任命される。	講義内容は、Montessori, M. (1913). <i>Pedagogical anthropology (L'Antropologia pedagogica)</i> (Frederic T. Coope, Trans.). London: William Heinemann. (1913, New York: F. A. Stokes Company)。図表・グラフ・写真・図式などの視聴覚教材を使用。 Montessori, M. (1904). Sui caratteri antropometrici in relazione alle gerarchie intellettuali dei fanciulli nelle scuole (Anthropometric characteristics in relation to the intellectual standing of children in school), Florence. Montessori, M. (1904). Influenza della condizioni di famiglia sul livello intellettuale degli scolari (The influence of family conditions on the intellectual development of schoolchildren), Bologna.
1906年	36	科学者、専門家として名声を確立。教育学・心理学国際会議の判定委員に推薦さ	Montessori, M. (1905). Caratteri fisici delle giovani donne del Lazio (Physical

		れる。	characteristics of the young women of Latinum), Rome. Montessori, M. (1906). L'importanza dell'etnologia regionale nell'antropologia pedagogica (The importance of regional ethnology in pedagogical anthropology), Milan.
1907年1月6日	36	Signor Edouardo Talamo を理事長とするローマ優良建築協会／不動産協会 (Istituto romano di beni stabili/Roman Real Estate Association) の依頼を受け、ローマの San Lorenzo 地区のマルシ通り第 58 ビルに、「子どもの家」(Casa dei Bambini) を開設する (1910 年にはモンテッソリは直接関与していない)。	50 名～60 名の 2 歳～7 歳／3 歳～6 歳)。子どもの世話は、ビルの門番の娘で保育未経験の Candida Nuccitelli (当時年齢約 40 才) を採用した。
4月7日		同地区の別の建物に、第 2 の「子どもの家」を開設する。教師養成の教え子 Anna Fedeli と共に、教具や方法の実験を試みる。読み書きの実験を開始する。	
	37	ローマ大学で教育学的人類学の講義に出席感銘を受けていた Anna Maccheroni が、モンテッソリを訪問。子どもの家を見学し、モンテッソリに師事することを決意する。	
秋		体育教師の選抜委員となる。	
11月	37	継続していた大学で人類学の学外試験管としての職に加え、教師養成コースの歴史および自然科学の試験委員会委員を任命された。	
1908年1月			スイスのイタリア領で、既存の孤児院や幼稚園はフレーベル教育法から、モンテッソリメソッドを導入した「子どもの家」へ変更する。
春		上記 Signor Edouardo Talamo と決裂する。	
春		ユダヤ系社会主義者によって創設されたイタリアの博愛主義的組織である人道主義協会 Società Umaitaria (ジャーナリストの Benito Mussolini も所属) の講義依頼を受け、ミラノへ招待される。	
9月		ミラノ再訪問、教育者や市民指導者たちに 3 つの講演を行う。子どもの家予定地 Via Solari の住宅でも講演。人道主義協会メンバーは、失業者のための協合作業場 House of Labor (Casa di Lavoro) で、教具を作ることを引き受けた。	
10月18日	38	人道主義協会 Società Umaitaria によって、ローマ市郊外の最初の「子どもの家」が、ミラノに開設される。6 歳以下 46 名。Anna Maccheroni が責任者として派遣される。	人道主義協会の依頼により、ミラノで講義をする。
11月4日		イタリアで 5 番目、ローマ市内で 4 番目の子どもの家を、英国大使 Sir Rennell Rodd が中産階級地区にあるローマ大使館 Rome's Corso d'Italia で開始。	
1909年 夏		1908 年にモンテッソリと出会っていたイタリア南部後進地区における農地改革運動の指導者であり、近代農法・農民の生活条件改善に取り組んでいた Leopoldo Franchetti 男爵と再会。地域の教育改革に関心を持っていた男爵夫人の Alice	男爵の別荘において Maccheroni, Elisabetta Ballerini, Anna Fedeli と共に、約 100 名の学生に講義を行う。爵夫妻の援助により、『モンテッソリメソッド』 <i>Il Metodo della pedagogia scientifica applicato all'educazione infantile nelle</i>

年代	年齢	事項	主だった著書・論文・その他の事項
1909年		Franchetti (旧姓 Alice Hallgarten) と会う。Città di Castello 近郊にある男爵の別荘 La Montesca で過ごす。	<i>Case dei Bambini (The Montessori Method: Method of scientific pedagogy applied to the education of young children in the Casa dei Bambini.)</i> を執筆する。
11月	40	Anna Maccheroni は、ローマに戻る。	
秋	40	モンテッソリはローマに戻り、春の2つの講演準備に着手。Anna Fedeli はミラノへ戻り、1909年10月開校の第2の子どもの家の責任者となる。	
12月		1909年創刊 <i>The Kindergarten-Primary Magazine</i> に掲載された Jenny B. Merrill (同誌編集委員、マンハッタン・ブロンクス・リッチモンドの幼稚園指導主事) の記事によって、アメリカに初めてモンテッソリメソッドが紹介される。	Merrill, J. B. (1909, Dec.). A new method in infant education, <i>The Kindergarten-Primary Magazine</i> , 23(4). Merrill, J. B. (1910, Jan.). A new method in infant education, <i>The Kindergarten-Primary Magazine</i> , 23(5). Merrill, J. B. (1910, Jun.). A new method in infant education, <i>The Kindergarten-Primary Magazine</i> , 23(10).
1910年 春		ローマで教師養成、モンテッソリ法に関心をもつ保護者および一般を対象に2つの講演を行う。Maccheroni と Fedeli は、ローマに戻り、モンテッソリの講義を手伝う(協力者として Ballerini, Lina Oivero)。講義出席・子どもの家の見学者は、Franchetti 夫人 (Alice Franchetti)、Maria Maraini 夫人、Guerrieri-Gonzaga 侯爵夫人など。Margherita 女王も関心を示し宮廷に招待した。	Tozier, J. (1911, Dec.). The Montessori schools in Rome, <i>McClure's Magazine</i> , 38(2), p. 133 にモンテッソリ講義の様子を寄稿。
夏		Anne E. George が、アメリカ人として初めての受講生として、8カ月の講習を受ける。	George, A. E. (1912, Jul.). Doctor Maria Montessori: The achievement and personality of an Italian woman whose discovery is revolutionizing educational methods, <i>Good House-Keeping</i> , 55.
		ローマにモンテッソリ協会 Montessori society が創設され、Margherita 女王が後援者の一人となる。ナポリ、ミラノにも支部が設立される。 ローマ市長 Ernesto Nathan の働きにより、大臣や貴族も自宅内にモンテッソリ・クラスを開設。イギリス大使が大使館員の子どものために開始したモンテッソリ・クラスが、ローマ駐在の外交官の子どものためのスクールに発展し、ピンチオ丘 Pincian Hill に移転、モンテッソリの監督下となる。 モンテッソリ自身によって、ポポロ広場 Piazza del Popolo に近い自宅に、貧困家庭の子どもたちのためのクラスおよび裕福な家庭の子どもたちのクラスが開設。6才から9才の子どものみ小学校段階の上級教具を試行。はめ込み板、ビーズ棒、鎖、四角形版、立方体などの高度な新教具を考案し、かけ算・分数・幾何学などの算数教育を試行。	モンテッソリ教育関連記事を掲載したアメリカの雑誌：教育誌としては <i>American Education</i> , <i>Journal of Educational Psychology</i> , <i>Kindergarten Review</i> , <i>Pedagogical Seminary</i> , <i>American Primary Teacher</i> 、大衆誌としては <i>Ladies Home Journal</i> , <i>Woman's Home Companion</i> , <i>Good House-Keeping</i> , <i>Dial</i> , <i>Scientific American</i> , <i>Delineator</i> , <i>Contemporary Review</i> など。
1911年		上級女子師範学校 istituto Superiore di Magistero Femminile で人類学と衛生学の外部講師 (1913年-1916年まで在職) をつとめる。	

- 2月 ハーバード大学教授 Henry W. Holmes が、モンテッソリ教育法の英訳をモンテッソリに申し入れる。1911 年末までには、ニューヨークの子どもの家で、Carl Boyoir 管理下で House of Childhood から教具販売の準備が整う。
- ローマの子どもの家に、各国からジャーナリスト・教育学博士・外交官・欧州各国の王侯・教師・政府役人・宗教指導者・社会活動家・医者・事前事業家などが訪問 (著名人として、心理学者 Arnold & Beatrice Gesell、出版者 S. S. McClure、プリンストン大学 Howard Warren、ハーバード大学 Arthur Norton、ペンシルベニア大学 Lightner Witmer、コロンビア大学 William. Heard Kilpatrick、シカゴ公立学校学長 Ella Flagg Young、Hull House 勤務でソーシャルワーカーの先駆者 Jane Addams など)。アメリカの派遣団として、マサチューセッツ障害児施設・プラット障害児施設・アイオワ州立大学・マイアミ大学・カリフォルニア大学・アーカンソー大学・ミシガン大学など。
- 5月 アメリカから、*McClure's Magazine* 編集長 S. S. McClure がモンテッソリを訪問。McClure, S. S. (1914). *My autobiography*. NY: Frederic, A. Stokes.
- The Montessori Method* が、英語・フランス語・スペイン語・ドイツ語・ロシア語・ポーランド語・ルーマニア語・デンマーク語・オランダ語・日本語・中国語等に翻訳され、数年後には 20 カ国語以上に翻訳される。
- 10月 41 ローマ市教育委員会によって、古いローマのユダヤ人街 Pescheria 地区にある St. Angelo school の教室に子どもの家を開設する。6 歳児 45 名。1911 年末アメリカ人の Anne E. George が訪問。
- 10月 41 Ann E. George は、12 名の子どもたちと共にニューヨーク Terrytown の W. Harden の自宅において、Mr. Frank A. Vanderlip 等と共に、アメリカ最初の子どもの家を開設する。ボストンでも第 2 の学校が開設。デ=モイン、アイオワ、オマハ、ネブラスカなどの教育委員会は、モンテッソリ方式を学校システムを導入を考えていた。*McClure's Magazine*, 39(1), 1911 Dec. に掲載。
- McClure's Magazine* の 1910 年ロンドン特派員 Mary L. Bisland が Josephine Tozier および Ranieri di Sorbello 侯爵夫人から情報を入手、1911 年 5 月、11 月に掲載されたモンテッソリ関連記事によって、アメリカにモンテッソリ教育に関心が起こる。1912 年 5 月号にモンテッソリ自身の論文が掲載された。Tozier, J. (1911, May). An educational wonder-worker: The methods of Maria Montessori, *McClure's Magazine*, 37(1). Tozier, J. (1911, Dec.). The Montessori schools in Rome, *McClure's Magazine*, 38. Tozier, J. (1912, Jan.). The Montessori apparatus, *McClure's Magazine*, 38.
- George, A. E. (1911, Dec. 24). A school without desks or class or recitations, *The New York Times*.  
George, A. E. (1912, Jun.). The first Montessori school in America, *McClure's Magazine*, 39(2), p. 178.  
George, A. E. (1912, Jul.). Dr. Maria Montessori: The achievement and personality of an Italian woman whose discovery is revolutionizing educational methods, *Good Housekeeping*.
- 未 モンテッソリ・システムが、イタリアやスイスの公立小学校に正式に採用される。パリでモデル校 2 校。
- 1912 年 アメリカの教育大学で、モンテッソリへの関心が高まり、講義が行われる。
- イギリスの富豪 Bertram Hawker は、East Runton の自宅で、英国最初のモンテッソリ・スクールを開校し、国際教師養成コース受講者であった Lydbetter にイギリスの定期刊行誌、特に、London Times Educational Supplement を通してイギリスにもモンテッソリ教育が広まる。

年代	年齢	事 項	主だった著書・論文・その他の事項
1912 年		指導させる(ノーフォーク州教育当局の協力によって、East Rounton 小学校から選ばれた 12 名が参加)。  イギリス政府は教育委員会の学校監督官主任の Edomond Gore A. Holmes を代表使節としてローマへ送る。	公式報告書として、Holmes, E. G.(1912). The Montessori system of education, Great Britain Board of Education, <i>Educational Pamphlets</i> , No. 24, London.
3 月		イギリス教師対象にモンテッソリメソッドの論文が発表される。	
春		Edomond Gore A. Holmes は、上記の富豪 Bertram Hawker と共に Montessori Scoeity of the United Kingdom を設立する。200 名の会員が集まる (1914 年末に解散)。	
4 月		ハーバード大学教育学部監修で、 <i>The Montessori Method</i> がアメリカで出版され、ベストセラーとなり、ノンフィクション部門で第 2 位となる。初版 5000 部は 4 日間で完売、発行 6 ヶ月内に、第 6 版。	Montessori, M. (1912). <i>The Montessori method</i> (A. E. George, Trans.). New York: Fredrick A. Stokes Co. Montessori, M. (1912, May). Disciplining children, <i>McClure's Magazine</i> , 30, 95-102.
早春	41	Montessori American Committee が結成。4 月 23 日の第 3 回目会議において、Miss Anne E. George、Mr. S. S. McClure、Miss Edith Lewis、Mr. William Morrow、出版者でありニューヨークでモンテッソリ教師養成校の長として予定されていた Mrs. Edith Sharon によって結成され、 <i>McClure's Magazine</i> 6 月誌上で発表される。	
春		アイオワ州立教育大学で幼稚園教育を教えていた Florence Elizabeth Ward 教授は、Tarrytown に開設された Ann George のモンテッソリ・スクールを訪問、Henry W. Holmes 教授に会見後、1912 年春にイタリアへ渡り、モンテッソリ訪問と子どもの家を見学。アメリカへ帰国後、報告書を作成し、全国教育会議 National Education Association に提出する*。	アメリカのクラーク大学の Theodate L. Smith は、戸外幼稚園でモンテッソリ教育を実践。Smith, T. L. (1912). <i>The Montessori system in theory and practice</i> . New York: Harper & Bross. Ward, F. E. (1913)*. <i>The Montessori method and the American schools</i> . New York: Macmillan Company.
6 月 5 日		モンテッソリは、Montessori American Committee 結成に対して電報で異議を表明。  Montessori American Committee が、第 1 回 International Training Course を開講する (1913 年 1 月 15 日ローマ開催) ことでモンテッソリと合意。	Montessori, M. (1912, Jun. 5). Telegram to S. S. McClure, <i>McClure Manuscript</i> . Montessori, M.(1912, Jul. 5). Ltter to S. S. McClure, <i>McClure Manuscript</i> .
夏		Bell 夫人 (Mabel Hubbard Bell) は、Beinn Bhreagh (カナダの Nova Scotia 州 Cape Breton の別荘) に移動したことによって、カナダで最初のモンテッソリ・スクールとなる。Miss Roberta Floetcher の指導でモンテッソリ・スクールを試みる。	
10 月		Alexander Graham Bell, Mabel Hubbard Bell は、Anne E. George と Roberta Fletcher の指導によって、ワシントンの自宅でモンテッソリ・スクールを開始	Fisher, D. C. (1912). <i>Montessori mother</i> . New York: Henry Holt & Co. Fisher, D. C. (1913). <i>The manual for teachers and parents</i> . Chicago: W. E.

	(1913年4月に閉校)。		Richardson. Stevens, E. Y. (1912, Nov.). The Montessori method and the American kindergarten, <i>McClure's Magazine</i> , 40(1).
12月20日	42 母 Renilde Montessori、72歳で逝去。		
12月	1912年にモスクワの教育雑誌に掲載された子どもの家の記事を通して、トルストイの娘 Tatiana Tolstoy が、12月にモンテッソリメソッドに関する論文をモスクワの教師会議で読み上げる。アメリカから教具を取り寄せ、ロシア帝国初のモンテッソリクラスが Vilna で開設。物理学者 V. V. Lermontov は、イギリスの教育書でモンテッソリ教育を知り、アメリカの教具で、St. Petersburg に実験クラスを開設する。	英・米・西欧諸国・インド・中国・韓国・日本・メキシコ・シリア・オーストラリア・ニュージーランド・アルゼンチン・ハワイ等にモンテッソリ・スクールが開校される。	
末	ロンドン州会議 London County Council は、幼児学校教師 Lily Hutchinson をローマに派遣し、1913年1月からの国際養成コースに参加させる。ロンドン州議会によって開催された1913年度教師会議においてモンテッソリ・メソッドが主要議題となる。	スイス・オーストラリア・ロンドン・ローマ・ストックホルム・ヨハネスブルグの公立学校制度にモンテッソリ・システムが採用される。 Montessori Society が各国で結成される。	
1913年	Maccheroni が担当したギウスチ通りの聖フランシスコ女子修道院内 (Convento delle Suore Francescane Missionarie di Maria) のモンテッソリ・クラスは、モンテッソリ・メソッドのモデル校となり、1914年国際コースが開催される。	Montessori, M. (1913). <i>Pedagogical anthropology</i> . (Frederick T. Cooper. Trans.). New York: Frederick A. Stokes, London: William Heinemann. Montessori, M. (1913, Mar.). Plan for an international institute, <i>McClure's Magazine</i> , XL, 221-231. Montessori, M. (1913, Aug. 10). Montessori schools (letter to the editor), <i>New York Times</i> , p. 6.	
	スペイン初のモンテッソリ・スクールがバルセロナに開設。1911年の <i>McClure's Magazine</i> 記事の翻訳以降、モンテッソリ教育に対する関心が高まり、教育者 Juan Palau Vera は、バルセロナの教育当局を説得しローマへ派遣。モンテッソリより著作 <i>Il Metodo</i> の翻訳許可を得て帰国。		
1月15日	ローマで、第1回 International Training Course が開講される。この養成コースは、American Committee (Bells, McClure, Professor Holmes, William Morrow, Anne E. George, Ellen Yale Stevens) によって組織化された。ドイツ、スイス、アイルランド、オーストラリア、アフリカ、インド、イギリス、アメリカ (67名)、計87名が参加。ローマの政官、貴族、Margherita 女王等が見学。後のモンテッソリ運動の貢献者となる Dorothy Canfield Fisher, Dalton Plan 創設者 Helen Parkhurst, 通訳 Adelia McAlpin Pyle, イギリスのモンテッソリ指導者となる Claude Claremont 等が参加。	Announcement of a Montessori training course, <i>McClure's Magazine</i> , 1912, Nov.においてコースの紹介。(87名中67名がアメリカからの参加者) Ellen Yale Stevens (1913). A guide to the Montessori method. Fisher, D. C. (1913). <i>The manual for teachers and mothers</i> . New York: The W. E. Richardson Co. Fisher, D. C. (1912). <i>Montessori mother</i> . New York: Holt & Co.	
春	4ヶ月コースを終了し資格を取得した派遣された12名の教師が、イギリスに帰国、ハムステッド・ガーデン・サバーブからバーミンガム郊外にかけての公立私立学校で実験クラスを開いた。ロンドン大学女性大学教師協会の年次会合において基調講演 <i>The theory of the primrose path</i> において批判が起こる。Association of University Women Teachers at the University of London		

年代	年齢	事 項	主だった著書・論文・その他の事項
1913年 春		モンテッソリクラスのモデルが、Philip & Tacey 会社のロンドンのショールームに登場。* 1913年には、100校のモンテッソリ・スクールがアメリカに存在した。	
春		The New England Montessori Associationが発足される。ニューヨーク市で、スカッター女子学校 Scudder School for Girlsの校長 Myron T. Scudderが、教師養成コースを開講、受講生の一人はメイン州で公立モンテッソリクラスを開いた。Myronは、McClureを「モンテッソリの夕べ：アメリカでのモンテッソリ・メソッドについて多面的視野から討論する会 (Montessori evening, with stereopticon views, and a discussion as to the value of the method in America)」へ招待。コロンビア大学、ニューヨーク大学教育学部教授陣、ニューヨーク市教育委員会も招待される。	Scudderが開催したコースに対するモンテッソリの抗議「ローマでの養成コース以外は承認しない」が、 <i>The New York Times</i> (1913, August 10)に掲載される。
5月		Montessori Educational Association (American Committeeを発展させた組織)が結成される。会長は Mabel Hubbard Bell。協会役員は、Alexander Graham Bell, Mabel Hubbard Bell, Dorothy Canfield Fisher (Mrs. John R. Fisher)、S. S. McClure、合衆国教育長官 Philander P. Claxton、大統領令嬢 Margaret Woodrow Wilson などの教育家・銀行家・弁護士、Mabel Bellの義理の息子で National Geographic 編集者 Gilbert Grosvenor)。(1915年からは、会長は Alexander Graham Bell)。	George, A. E. (1913, May). Rhythm work in the Children's House at Washington, <i>McClure's Magazine</i> . Montessori Educational Associationは、 <i>Bulletin of the Montessori Education Association</i> を発行、会の方針を1913年11月第1号に記載。
11月		McClureはローマを訪れ、アメリカでの活動をモンテッソリに申し出、承諾を得る。北アメリカでのフィルム上映権を獲得。(McClureの事業の賛同者として Lee Keedick)	
11月21日	43	モンテッソリは、ナポリを出発し渡米。船上にて、アメリカ政府からの公式歓迎の辞を受ける。	国際教師養成コース第1期生の Margaret Naumburgは、ニューヨークで進歩的な Walden Schoolを開校した。Naumburg, M. (1913, Dec. 13). Maria Montessori, Friend of Children, <i>Outlook</i> , p. 796. Montessori, M. (1913, Aug. 10). Montessor schools (letter to the editor), <i>New York Times</i> .
12月3日		ブルックリンに到着、Adelia Pyle、ロードアイランド教師養成校校長の Clara Crig、Montessori Educational Association 歓迎団 (William Morrow、Elle Yale Slevens、Anne George) などによって熱烈的歓迎を受ける。  Kalorama Roadのモンテッソリ・スクールを訪問。有力な人脈を有する大統領の娘 Margaret Wilsonが案内、関係へ紹介。US Commissioner of Educationの Philander P. Claxtonは、ニューヨークでのスクールシステムに公立学校モンテッソリシステムを導入意見を発表。	
12月6日(土)		ワシントンの Masonic Temple で、アメリカ初の講演を行う。聴衆はワシントン上流階級、官僚。Anne E. Georgeが通訳。子どもの家フィルム上映。Alexander Graham Bell家において歓迎会(米国海軍、商務省、農務省、公衆衛生省の官	Dr. Montessori talks of her mode of auto-education, <i>The New York Times</i> , 1913, Dec. <i>The New York Herald</i> (1913, Dec. 7), <i>Brooklyn Daily Eagle</i> (1913, Dec 7)において、訪米の反響が報道される。

僚、ワシントン州大司教、フランス駐米大使、ドイツ駐米大使、イギリス、ロシア、イタリア、スペイン、スウェーデン、ギリシア、ノルウェー、ベルー、ウルグァイ等の外交官が出席)。

- 12月8日(月) ニューヨークへ戻る。カーネギーホールで聴衆約1000人を対象に2時間の講演。A. E. Georgeが通訳。コロンビア大学教授であり全国幼稚園連合会 National Kindergarten Association 会長の John Dewey が司会をつとめる。American Museum of National History の館長 Henry Fairfield Osborn、American Publishers Association 会長でアメリカでのモンテッソリ著作出版社社長 Frederick A. Stokes、ニューヨーク大学教育学部長、プリンストン大学やハーバード大の教育学部教授、私立・公立幼稚園養成校校長、モンテッソリ教育協会代表者、市民団体代表などが出席。
- 1913年、ニューヨーク、ワシントン、ボストンの主要新聞がモンテッソリに関する記事を掲載。  
Dr. Montessori talks of her mode of auto-education, *The New York Times*, Dec. 7, 9, 12, 14, 16, 24; *New Brooklyn Daily Eagle*, Dec. 3, 7, 12; *New York Tribune*, Dec. 3, 4, 9, 14, 15, 16; *The New York Herald* Dec. 4, 7; *The Sun* (NY), Dec. 9.
- 講演のためフィラデルフィア訪問、Helen Keller、Anne Sullivan Macy と会う。ニューヨークに戻る。コロンビア大学学長 Nicholas Murray Butler などの訪問客や報道陣がモンテッソリを訪れる。Brooklyn Academy of Music において、Institute of Arts & Sciences 主催で講演する。  
ボストンでハーバード大学教授陣と会う。Providence で、すでにモンテッソリシステムを導入していたロードアイランド州知事・教育委員会と会う。ニュージャージー州 West Orange に、Thomas A. Edison を表敬訪問。ピッツバーグ、シカゴで講演を行う。
- Stevens, E. Y. (1913). *A guide to the Montessori method*. New York: A. A. Stokes Company.  
Culverwell, E. P. (1913). *The Montessori principles and practices*. London: G. Bell & Sons LTD. アイルランドにおけるモンテッソリ理論への関心を呼んだ。  
Montessori, M. (1914). The education of the senses, *Volta Review*, 16, 472-473.
- 12月15日 カーネギーホールで2度目の講演
- ピッツバーグ、シカゴの Illinois Theater において2度目の講演(1911年にローマの子どもの家の訪問者である公立学校の教育長となった男女同権論者 Ella Flagg Young と社会福祉施設 Hull House 勤務でソーシャルワーカーの先駆者 Jane Addams などがモンテッソリを紹介した)。
- ミシガン州バトルクリークでコーンブレックで億万長者となった Kellogg に紹介される。ニューヨークに戻り、新婦人国際クラブで送別会に出席。
- 12月24日 アメリカを発ち、帰国。  
ローマの聖フランシスコ会の修道院クラスが、サンロレンゾの子どもの家によってモンテッソリモデル校となり1914年開催の国際コース会場となる。
- Kilpatrick は、International Kindergarten Union の基調講演において、モンテッソリ教育批判を行う。
- Grant, R. C. (1913). *English education and Dr. Montessori*. London.  
Kilpatrick, W. H. (1913, Apr.). Montessori & Froebel, *Kindergarten Review*.  
Kilpatrick, W. H. (1914). *The Montessori system examined*. Boston: Houghton, Mifflin Co.
- 1914年1月 ロンドンタイムズは、モンテッソリの訪米効果に関する報道記事を連載 *The Times* (London), January 20, 21, 23, 26, 28, 1914.
- 全国幼稚園協会がローマへ代表を送りモンテッソリ・スクール見学に関するモンテッソリ批判的 National Kindergarten Association 報告書 Elizabeth Harrison (1914). The Montessori method and the kindergarten, *US Bureau of Education, Bulletin*, 28.

年代	年齢	事 項	主だった著書・論文・その他の事項
1914年		St. George's School at Harpenden の Cecil Grant 神父は、1914年ロンドン大学で開催された Conference of Educational Association においてモンテッソリ教育を讃辞。	オランダの最初の子どもの家は、Caroline W. Tromp によってアムステルダムに設立。
	初旬	ロンドン州議会の教育委員会によって Montessori's 1913 international training course が開催される。1913年モンテッソリ国際教師養成コースに派遣された Lily Hutchinson がモンテッソリを評価した報告書を提出。	
	2月～6月	第2回モンテッソリコースが、ローマの Castel Saint' Angelo にて開催される。パルセロナ教育当局は教師2名と学校監査を派遣スペインに子どもの家創設援助を求めた。その他、15カ国から参加があり、アメリカは45名参加。Anna Maccheroni の実技指導、1913年国際教師養成コース受講者の Claude A. Claremont による通訳。コース開催中に、国際婦人会議がローマで開催、アメリカ代表団を招いてモンテッソリはレセプションを開催した。	George, A. E. (1914). The Montessori Movement America, <i>Report of the U. S. Commissioner of Education</i> , Washington, DC, 1(15).
	4月	McClure は、弟 Robert McClure と共に、N. Y. Institute 設立を目的として、ローマにモンテッソリを訪問する。結果として、フィルム等の返却・代理人としての地位の放棄を始めとしてモンテッソリ運動から McClure は退くことになる。	1912年および1913年の Dorothy Canfield の著作に対して、モンテッソリはアメリカから帰国後、自ら一般向けの著作を出版する(初版より英語版)。Montessori, M. (1914). <i>Montessori's own handbook</i> . New York: Frederick A. Stokes Co. (1914, London: Heinemann)
	7月28日	第一次世界大戦勃発	
	夏	Lytton 卿を会長とする英国の Montessori Society は、Raunton で会議を開催し、子どもの解放 Child emancipation について討議する。Bertam Hawker によって2年前に開設されたモンテッソリクラスに250名が訪れる。	White, J. (1914). <i>Montessori schools as seen in the early summer of 1913</i> . Birmingham: Cornish Bros., Ltd. 教具販売の拘束に関して、グラスゴー大学教育学部教授の William Boyd は、教具の特許化に対して批判的見解を示す。Boyd, W. (1914). <i>From Locke to Montessori: a critical account of the Montessori point of view</i> . London: George G. Harrap & Co. (New York: Henry Holt & Co.)
		Maria Maraini 夫人、Donna Sofia Bertolini 夫人、Marchesa Guerrieri-Gonzaga 侯爵夫人などによるモンテッソリメソッド親交会 Society of Friends of the Montessori Methods が設立。	
	末	英国モンテッソリ協会の解散。モンテッソリ自身を会長、モンテッソリ著作の出版社である Willam Heinemann を退職した C. A. Bang を創設者とする臨時委員会が12月に設置される。Claude Claremont などの修了証書保持者によってロンドン研究会が開始される。1915年春に、ロンドン州議会の小学校監査主任の Dr. C. W. Kimmins が集会で発言。	
1915年	春	M. R. Cromwell によって、パリに難民の子どもや戦争孤児のためのモンテッソリ・スクール開設(後援会にはアメリカ大使館、哲学者 Henri Bergson 等)。フランスの政治家 André Tardieu は、教育大臣にカリフォルニアで訪れたモンテッ	Cromwell, M. R.によるフランス語版 <i>Il Metodo</i> (フランス小学校監査主任の公式讃辞が前書きに添えられていた)。

ソリ・クラスに関する外電を打ち、その後多くの町にモンテッソリ・スクールが設置されることになる。

初旬

Montessori Educational Association の会長に Alexander Graham Bell が就任。Bailey Willis をカリフォルニアへ派遣し、中央協会と地方協会との設立について、組織とモンテッソリの関係についての理解を得ようとする。

春

サンフランシスコ万国博覧会への渡米前に、Anna Maccheroni をバルセロナへ送る。スペインのカタロニア政府の協力により、3月始めに5名の小さなクラスを設立。10月までに100名となる。

4月

National Education Association の招聘により、再度訪米し、ニューヨークに到着。Katherine Moore (アメリカ公立学校で初めてモンテッソリ教育を指導/1911年に自らモンテッソリ学校を創立)、Helen Parkhurst、Adelia Pyle が迎える。John Jay Dwellings のモンテッソリクラス見学。P. S. 45 ブロンクス第45公立学校訪問、著名な教育評論家 Angelo Patri と、Gary system および Gary plan について会談。

4月26日

サンフランシスコ到着。

4月27日

5月1日に開催するコースのため、ロサンゼルス到着。

南カリフォルニアに向かい、パサデナ、サンディエゴを訪れた後、ロサンゼルスで2ヶ月間過ごす。

7月

サンディエゴで、コース開催。その後、サンフランシスコへ戻る。

8月16日  
～27日

カリフォルニアで開催される第53回 Panama-Pacific International Exposition において、モンテッソリ・モデルクラスの実際公開。第3回教師養成コース(週4回、8月～11月)を週4回開講。(アメリカの全国教育協会 National Education Association および国際幼稚園連合 International Kindergarten Union の依頼により博覧会会場の教育広場にて8月11月までモンテッソリ・モデルスクール実施)。サンフランシスコ8月～11月、3回目の国際教師養成コースとなった教師養成コース開催。教師養成コースは Katherine Moore が担当。モデルクラスの指導者は Helen Parkhurst。教育部門において、2個の金メダルを獲得する。

National Educational Association meetings による下記の4つの講演\*は、*Journal of Proceedings & Addresses of the Fifty-Third Annual Meeting and International Congress on Education*, Oakland, CA, Aug. 16-27, 1915. Ann Arbor, MI: National Education Association に掲載され、後日 House of Childhood for the National Montessori Promotion Fund によって冊子となる。

Montessori's Lectures (1915). Education in relation to the imagination of the little child, pp. 661-667; The mother and the child, pp. 717-722; The organization of intellectual work in the school, pp. 717-722.

11月

45 会長モンテッソリ、運営 Helen Parkhurst による National Montessori Promotion Fund をニューヨークに設立する。モンテッソリ協会設立への諸規定 *General Regulations for the Formation of an Authorized Montessori Society* に即して、1913年以降のコース受講者のみをモンテッソリ教師と公認する旨を明らかにする。アメリカでの養成は Mario Montessori に一任する。

Montessori Educational Association の初代会長である Bell 夫人は、2つの組織の存在に困惑しつつも、1916年秋に National Montessori Promotion Fund (モンテッソリ自身が会長、パーカストが運営にあたり、本部は NY) の理事となる。1917年にパーカストが National Montessori Promotion Fund を脱会、独自の組織設立。結果として、アメリカでのモンテッソリ教育は次第に衰退する。Montessori, M.(1915). Baby prodigies [Except from address], *The Kindergarten-Primary Magazine*, 27, 310.

年代	年齢	事 項	主だった著書・論文・その他の事項
1915 年		モンテッソリ教育協会とモンテッソリに明確な合意が成り立たないうちに、父親の訃報を受けたモンテッソリはイタリアへ帰国。	
	11 月 25 日	父 Alessandro 逝去。	
1916 年		イタリア教育省から、ローマの学校に開設された公的実験クラスでのモンテッソリメソッドの実践を監督任命される。	
		Maccheroni、Adelia Pyle と共にアメリカからスペインに渡る。	
	2 月	1916 年のバルセロナコースでの第 1 回国際教師養成コースを開講する。185 名入学。バルセロナ、スペインの他の地方教育当局からの派遣者、ポルトガル、イギリス、カナダ、アメリカから派遣された教師。バルセロナに開設されていた Maccheroni の学校、公立のモンテッソリ・スクール 2 校（スペイン政府国立学校、バルセロナ市立学校）が実演クラスを提供。	
		イタリア教育省からモンテッソリ教育法の実践監督を任命される。	
1916 年～1917 年		再度、訪米する。ニューヨークの Child Education Foundation で講演する。	
	11 月 2 日 ～ 4 日	Wisconsin Teachers' Association で講演*。	* Montessori, M. (1917). The children of the world with special references to the American child, <i>Proceedings of the 64th Annual Session, Wisconsin Teachers' Association</i> , Nov. 2-4, 1916, 303-304.
1917 年 春		合衆国に残った Mario は、カリフォルニアでモンテッソリクラスを開始。ロスアンジェルスで養成コースを開催。	
	12 月	ロスアンジェルスで Mario Montessori と Helen Christie の挙式に参列する。	
		Netherlands Montessori Society 設立 オランダを初めて訪れる。Pedagogical Society of Amsterdam から講演依頼を受ける。Hugo de Vries 教授を紹介される。オランダでは 2 年の養成コースが定期的に実施された。	<i>The advanced Montessori method</i> として、下記の 2 巻が出版される。 Montessori (1917). <i>Spontaneous activity in education</i> . (L. Hutchinson, A. Livingston, & F. Simmonds, Trans.). New York: Frederick A. Stokes Co. (London: W. Heinmann, 1914). Montessori (1917). <i>The Montessori elementary material</i> . (L. Hutchinson, A. Livingston, & F. Simmonds, Trans.). New York: Fredrick A. Stokes Co. (London: W. Heinmann, 1914).
1918 年		私的にアメリカを訪れる。	
	秋	48 イタリアにもどり、教皇 Benedict XV に個人的に拝謁を賜る。後に、教皇は Vatican Library にモンテッソリの著書を備えるように命を出す。イタリア国務次官は、ナボリの小学校 20 校に導入。	

11月11日	第一次世界大戦終結	
1919年7月	モンテッソリは英国を訪れ、ロンドンでの管理担当である C. A. Bang と打ち合わせをする。	1920年～1930年のロンドンでの講演は、The cosmic mission of man on earth および Education as the armament of peace というような哲学的内容がなされた。
8月30日	49 モンテッソリは Charing Cross に到着、女王の出迎えをうける。	
9月1日 ～10月	2ヶ月間ロンドンコース、第1回の国際教師養成コースを開催する。St. Bride's Foundation Institute にて講演。Lily Hutchinson の通訳。Maccheroni, Adelia Pyle, Anne Fedeli の監督指導の下で50時間の教育実習を行う。 2000名の応募者中250名を選考。	ロンドンの養成コースは、1919年～1938年の間、1年おきに開催された。 Montessori's Lecture in London, 1919: Practical life, <i>Times Educational Supplement</i> .
12月初旬	12月初旬の晩餐会まで、Westminster で公開講座を開講する。2700名参加、コースに参加できなかった者のために講義3回の短期コース開催し、1500名が参加。	
12月始め	British Psychological Society から講演の依頼を受ける。Royal Society of Medicine 王立医学会の会議で、モンテッソリメソッド・集中現象の観察による教具考案経過について話す(ロンドン州立小学校監査主任 Dr. Kimmins が議長を務める)。  Savoy Hotel での公式晩餐会。司会は教育委員長。イタリア王室、スペイン、アメリカ政府高官からのメッセージ。  Westminster で公開講座を開講する。オックスフォード学生会館での講演、ロンドン市長歓迎会に出席。Child Study Society での講演*。  国際教師養成コース終了。ローマの Anna Fedeli を見舞い、再度訪英イギリス各都市を旅行。	Montessori's Lecture at Norland Institute (1919, Oct. 2): Supplementary motherhood, <i>Times Educational Supplement</i> .  * Montessori, M. (1919). Children's imagination by means of fairy tales, <i>Times Educational Supplement</i> .  Cubberley, E. P. (1919). Public Education in the United States では、キルパトリックの主張を継承。
1920年1月末	モンテッソリはイギリスを発ち、Maccheroni は発展する運動の組織化を監督するために6か月在英。  アムステルダム大学から依頼を受け講演を行い(青少年教育へ、新たな中等学校プログラムについて)*、学者等の大きな反響を呼ぶ。1月23日午後、大学総長・理事主催の正式歓迎会。これを機に、学者による委員会が設置され、歴史、理知、科学にモンテッソリメソッドを適用することが検討された。	* 講演内容はAMIによって、1939年に発行(1973年に <i>From childhood to adolescence</i> として再版)。The "Erdkinder" and the functions of university: the reform of education during and after adolescence, <i>AMI</i> , Amsterdam, 1939.
1月19日	教育大臣との公式会見、新たな教育法を学校へ導入する法令を推進することに同意する。  パリで哲学者 Henri Bergson の訪問を受ける。ソルボンヌ大学で歓迎を受ける。ミラノ、ローマにおいてナポリのモンテッソリメソッドに基づく初等教育再編成計画報告を受ける。バルセロナに戻る。	編集者 Sheila Radice との会談： Radice, S. (1919, Nov. 27). The Montessori method: How children develop. <i>Times Educational Supplement</i> .

年代	年齢	事 項	主だった著書・論文・その他の事項
1920年 夏	Anne Fedeli 逝去。		Radice (1920). <i>The new children: Talks with Dr. Maria Montessori</i> . New York: Frederick A. Stokes and Co.
		1920年末までにイギリス、アイルランド、スコットランドの多数の市にあるモンテッソリ協会は、モンテッソリの承認を基本とした英本国とアイルランドに一つの全国的協会を設置することにした。	1920年代には、イギリス本国のみならずアイルランドの教職員がモンテッソリ教育に関心を抱くが、モンテッソリ教師の不足などが原因で公的なシステム導入に失敗する。
1921年 冬	イタリアで過ごす。		
2月	バルセロナに戻る。		バルセロナでの宗教教育について、 <i>Bambini viventi nella Chiesa</i> , 1922年。Standing 編集による宗教に関する小論文集 <i>The child in the church</i> , 1929年が英語で出版される。典礼年の研究 <i>The life in Christ (La Vita di Cristo)</i> , 1931、 <i>The mass explained to boys and girls (La santa Messa spiegata ai bambini)</i> , 1932がイギリスで出版(アメリカで1934)、年長の子ども向けミサ典礼書 <i>Opened book</i> (未出版)。
4月～6月	ロンドン教師養成コースを開講。Karl Buhler に心理学を学ぶためウィーンに滞在していた Lili Roubiczek が受講する。		Montessori's Lecture 38: The use of material (Standing, Trans.).
	アムステルダムに、開設した最初のクラスが、小学校までのモンテッソリ・スクールに発展、ロンドンコース後に訪問。Mario M., Adelia Pyle と共に、Caroline Tromp が指導する Amsterdam Montessori School を訪問する。		
夏	イギリスで、モンテッソリ科が Harpenden の St. George's School に開設、学科長は Claude Claremont*。(モンテッソリ教育を年長児に拡大する)。		* Claremont は、1923年に Letchworth の St. Christopher's school の科長、1925年に London と Cranleigh にある Montessori training colleges の校長となる。
9月	Montessori Society の集会において、Dr. Kimmins が、The future of the Montessori movement について講演するが、このことに対してモンテッソリは抗議し、Montessori Society in London の会長職を退く。		1921年～1922年冬、英国ではモンテッソリ教育運動に関して分裂が生じる。
10月	ロンドンのモンテッソリ派が分裂する。モンテッソリ運動の公式活動は、ロンドン養成コース担当者 C. A. Bang にゆだねられる。		
10月	Adelia Pyle と共にミラノで国際教師養成コースを開講する。 Edward M. Standing と出会う。		
	フランスのカレーで開催第1回 International Congress of New Education に参加。		Montessori (1921, Dec. 17). The Montessori Society, <i>Times Educational Supplement</i> .
1922年	1921年のロンドン養成コースの受講生で、Karl Buhler に師事した Lili Roubiczek が、ウィーンにモンテッソリ・スクールを開校する。彼女は、1923年にモン		

		テッソリ関係図書を取り扱う Montessori Verlag 設立を始め、上流階級を含めモンテッソリ教育を普及に広く貢献。	
春		ナポリ大学歴史学教授で医学博士でモンテッソリの友人であった Antonino Anile が、Benedetto Croce に代わり、イタリアの教育大臣に就任。モンテッソリは、新大臣の依頼を受け、ナポリで講義を行うため、イタリアに戻る。	新大臣の命により、モンテッソリメソッドを導入しているローマ市営保育所および小学校を4月から視察するするように依頼される（視察結果、ローマの2校が閉鎖される）。ナポリのモンテッソリモデル校(貧民街の子ども3才~7才300名在籍)が成果をあげる。
7月		Lili Roubiczek および、労使共同体*により、オーストリアに子どもの家開設。2歳~4歳25名入学。授業料1日300クローネ(経済危機社会不安によるインフレによって1924年12月には1週間3万クローネ)。	* Lili Roubiczek を始めとする16才から18才の女性5名の労使共同体 Arbeitsgemeinschaft に、Elise Herbatschek さらに、後にオハイオ州クリーヴランドの Western Reserve University 医学部の児童発達学の教授となる Emma N. Plank もいた。
秋		ベルリンで講演したが、反響はなかった。当時ドイツにモンテッソリ・スクール1校のみ。	
12月		年1回開催養成コース計画のためイタリアに行く。ナポリ市当局と教育者、モンテッソリ友の会 Amici del Metodo Montessori の共同後援による。教育省が財政援助、イタリア国民にのみ開講される1923年春開始予定のコースであった。	Parkhurst, H. (1922). <i>Education on the Dalton Plan</i> . New York: E. P. Dutton & Co. (1924年には、8カ国語に訳された。)
1923年3月	52	Lili Roubiczek の依頼を受けて、モンテッソリは初めてウィーンを訪問し、講演を行う。講演内容は、後に <i>The child in the family</i> として出版される。  モンテッソリは、ウィーンの労使共同体の一員で子どもの家での音楽担当者であった Elise Herbatschek と出会う。モンテッソリのすすめによって、Letchworth にある St. Christopher's College のモンテッソリ科に入学、ロンドンのモンテッソリ・スクールを視察。オーストリアに帰国する際に、モンテッソリから教具の一環として出版する曲集編集を依頼される。	1923年3月の講演内容：Montessori (1956). <i>The child in the family</i> (N. R. Cirillo, Trans.). Chicago: Henry Regenery Co. Italy: Garzanti Editore.  Montessori's Lecture 18 (May, 24): The Metal Insets. Montessori's Lecture (May, 29): Language.
		Lili Roubiczek は、保母向けの講習会開催。公立託児所に導入、多様な専門分野の人たちと交流、世論に影響を与える。1925年には、ウィーン市のモンテッソリ教師資格者が、私立学校7名、就学前施設と市営託児所に5名。地方にモンテッソリ2校となった。 ロンドンで第11回国際教師養成コース開催。1920年代の養成講座は、St. Christopher's in Letchworth および St. George's in Harpenden で開催された。The University of Manchester's Fielden Demonstration School では、モンテッソリ・メソッドでの成果をあげていた。English Montessori Society 会長でアクトン市教育長職員 Ewart Smart 博士の奨励の下、アクトン市小学校がモンテッソリ教育によって運営。 英国での養成コース時に盛大な晩餐会が催される。	1920年代中旬頃より、Dalton plan に対する関心がイギリスでも高まり、イギリスのモンテッソリ教育に貢献した Dr. Kimmins も Dalton Association に関与した活動を展開する。
6月12日		英国の Durham University から名誉博士号を授与される。	1920年代ロンドンにおける養成コースに関する内容を始め、公式歓迎会・晩餐会などについて詳細な記事が英国誌に紹介される。

年代	年齢	事 項	主だった著書・論文・その他の事項
1923年7月		ロンドンコース終了後、秋開催予定の養成コース準備でオランダに向かう前に、イタリアに行く。	
1924年		ロンドンのモンテッソリ協会集會にて講演する。	Montessori's Lecture (1924, Feb. 16): Nose-breathing and its importance to education, <i>Times Educational Supplement</i> .
		イギリスでは、Parkhurst の Dalton Plan 出版等に伴い Dr. Kimmins がモンテッソリ協会から離れる。	
2月	53	ムッソリーニは、世界中のイタリア領事館にモンテッソリ運動と影響の調査を外務大臣に依頼する。1925年春、調査結果に基づき政府公認の援助を受けることとなる。 モンテッソリと会見後、ムッソリーニはモンテッソリ法を公認し、普及することを公式に発表する。	Fynne, R. J. (1924). <i>Montessori her inspirers</i> . London: Longmans, Green and Co.
		イタリアの Society of Friends of the Montessori という会を復興、Method Montessori Society に変更され、教育大臣 Giovanni Gentil が指揮をとる。	
4月		政府公認の法人組織となる。Opera Montessori の復興(協会幹部、教育省、ローマ市庁代表、モンテッソリは名誉会長、Victor Emmanuel 国王の勅令により創設、Margherita 女王の庇護の下におかれた組織)。	
夏		モンテッソリ教育法に基づくモンテッソリ・スクールがイタリアに再び現れる。  アムステルダムで4カ月国際教師養成コースを開講する。大衆のために8回講演を行う。 アムステルダム大学教授 Geza Revesz, J. C. L. Godefroy の協力を得て、モンテッソリを編集長とする季刊誌 <i>The Call of Education</i> が発行される。	<i>The Call of Education</i> (1924-1925) に掲載されたモンテッソリの論文：1924, The call; 1924, Child character; 1924, Dr. Montessori's study of very littel children; 1924, On discipline-reflections and advice; 1924, Questions and answers relating to the development of the social life in the Montessori schools; 1925, Analysis; 1925, Montessori training course at London; Montessori training course at London: Final lecture; 1925, The new mistress; 1925, Question & answer on the children's use of the materials.
10月		Miguuel Primo 将軍の軍事独裁政権が1923年9月に樹立され、モンテッソリ教育学研究所であったバルセロナのモデルモンテッソリ・スクールを閉鎖。	カタロニアの公的援助がなくなっても、私営で継続するのは許されていた。学校を援助し監督していた民間グループであるカタロニア語教育奨励協会 The Associacio protectora de la Ensenyanca Catalana (Association for the Encouragement of Catalan Teaching) は、カタロニア語で教えたり、カタロニアの旗を掲げたり、この地方の民謡や踊りをおこなって来たため、新政府が壊滅にあたり、モンテッソリ・スクールも巻き込まれた。
1925年		ヘルシンキで第1回 International Montessori Congress が開催される。	Montessori's Lectures (1925, Apr. 6): Immediate environment, Individuality.
		3月 モンテッソリは、ウィーン訪問で歓迎される。	Lili Roubiczek の尽力により、Austrian Montessori Society が頻繁に開催され、

医学や心理学の専門家（フロイト精神分析界も）参加。

春	イタリア以外各国でのモンテッソリ法に関する 1924 年の状況調査結果がまとめられた。ムッソリーニは、モンテッソリ教育を高く評価し、イタリアでの最盛期を迎える。	
夏終わり	ナポリ市庁は、経済政策の一環としてモンテッソリ・スクールを閉校すると発表。新国家のイタリアモンテッソリ運動の中心は、ミラノと 1908 年設立の人道主義協会 Società Umanitaria に移った。  ムッソリーニはナポリで絶えたモンテッソリ運動を復興する任務をミラノの役人たちに命じ、ローマのモンテッソリ協会 Opera Montessori in Rome の支部である全国モンテッソリ協会ミラノ委員会 Comita di Milano dell'Opera を組織して、1926 年開催予定の雇用制コース計画に着手した。  ロンドンで教師養成コースを開講する。	Montessori's training course Final Lecture: The new mistress.
1926 年	インド Bhavnagar で開催されたモンテッソリ協議会の結果、インドに Montessori Society が組織され、 <i>Montessori Method</i> が Gujarati 語に訳された（翌年 Bombay で Hindi 語に訳された）。同年末までに、Tagore-Montessori schools がインドのみならずジャバ島に開設。	
2 月	55 ミラノで 6 カ月教師養成コースを開講する（Elise Herbatschek に音楽指導を依頼する）。ムッソリーニが名誉監督者となり、教育大臣 Fedele も参加した。（前教育大臣 Gentile はモンテッソリ協会ローマ支部長として教師 3 名の派遣を指示。閉校となっていたクラスを再開）人道協会 Societa Umanitaria が準備を一任される。イタリア各州からの派遣参加者 18060 名。	イタリア教育省がプログラムを作成する（ <i>Times Educational Supplement</i> , 1926, Mar. 13）。ファシスト党の勢力が増大し、報道・集会・言論の自由はなくなる。
6 月	ムッソリーニは、全国モンテッソリ協会 Opera Nazionale Montessori 会長となる。	モンテッソリ教育法に共感した Bertland Russell は(1926). <i>Education and the good life</i> . New York: Liveright Pub. Corp.を著す。
秋	南アメリカ（ブエノスアイレス、ラプラタ、コルドバ、アルゼンチンなど）を訪問し、講演する。	Montessori, M. (1926, July 30). Experience in Barcelona revolt, <i>London Times Index</i> .
11 月	56 ウィーン市と Viienna Montessori Association の招きでウィーンを訪問。（当時、市に雇用されているモンテッソリ教師は 30 名。1927 年秋までに市の各区にモンテッソリ・スクール設立が立案中）。Hofburg 宮殿での講演は、盛況を博す。  German Montessori Society の招きにより、ベルリン 2 カ月講演。 Amsterdam Montessori School に中等学校開設（後に、Montessori Lyceum of Amsterdam となる）。  ジュネーヴの国際連盟 League of Nation at Geneva の依頼を受け、Education and Peace 講演をする。	ウィーンで同年始めには、Jewish Montessori school が開講。Lili Roubiczek による日曜日子どもの家 Haus der Kinder 見学が実施される。  Montessori's Address: Education and peace.

年代	年齢	事項	主だった著書・論文・その他の事項
1926 年末		イタリア政府後援の下、モンテッソリ教師 60 名がミラノ・ベニス・アンコナにおいてモンテッソリクラスを指導する実験が行われる。	
末		ファシスト党員組織 Tesserà Fascista の名誉会員に叙せられる。	
1927 年		モンテッソリ教育の音楽担当者 Elise Herbatschek (Mrs. Braun) は、ウィーン の労使共同体の一員 Kitty Shiva Rao の誘いによって、Allahabad にある神智学 学校のモンテッソリ科担当のため、モンテッソリの反対を押し切り、渡印。イン ドの Allahabad に学校を設立する。この決断は、Lili Roubiczek と共に、ウィ ーンの子どもの家をモンテッソリ訓練のためのモデル実演学校計画中で音楽課程担 当を期待していたモンテッソリを怒らせた。	裕福なインド人により私立のモンテッソリ・スクールが開設。
3 月		ムッソリーニとの非公式に会見。	
4 月		イタリア政府は、ローマ市長にモンテッソリ教師養成学校設立の要請を出す。	
4 月		ロンドン教師養成コースを開講する。バッキンガム宮殿で開催された会に招待さ れる。	
6 月		4 月に計画されていた、国立モンテッソリ協会ミラノ委員会 IIComitato Milano dell' Opera Nazionale Montessori の公式月刊誌 <i>L'Idée Montessori</i> が発行され る (ムッソリーニが名誉会長。教育大臣、植民地大臣が副会長。ローマ・ミラノ 市庁高官・ジェンティーレなどの著名人が会員)。	
12 月	57	ムッソリーニは、閣僚会議で、モンテッソリ報の教師養成大学の設置に関する法 令草案を提出した。(イタリアにおける政府後援のモンテッソリ活動は、ローマの 養成大学 Regia Scuola Magistrale di Metodo Montessori in Rome、ローマと ミラノ市で活動する協会および出版物、ミラノ教師養成コース、70 以上のイタリ アの幼児学校や小学校のモンテッソリクラスであった。)	新たに序文を添えた <i>The Montessori method</i> の新版が <sup>3</sup> 、 <i>The discovery of the child</i> として 1948 年に Madras, India: Theosophical Publishing House から出 版される。
		モンテッソリは、Via Monte Zebio 35 にある新しい建物を提供され、1929 年に 養成を始めた。	
1928 年		ベルリンやオランダのデパートにモンテッソリクラスが設置され、教具が備えら れる。	オーストリアの Lili Roubiczek の最初の学校は、2 歳半～10 歳までの子ども 50 名となる。
8 月	59	イギリス養成コース終了後、AMI (Association Montessori International) を 創立する (会長はモンテッソリ)。Fifth world Conference of the New Education Fellowship のデンマークのヘルシンゲルで開催された International Montessori Congress において設立された。43 カ国 1800 名の出席者・インドの詩人 Rbindranath Tagore は、Tagore Montessori schools について発表。Elise Herbatschek は出席し、モンテッソリと再会する。Helen parkhurst も出席。AMI	Montessori's Lecture in Barcelona, 1929: Education of mentally defective children. Montessori, M. (1929). <i>The child in the church: Essays on the religious education of children and the training of character</i> (Standing, E. M., ed.), St. Louis: B. Hender Book Co. Montessori, M. (1929, Apr.). Blazing new trails in education, <i>Parent's Month-</i>

		は、1935年に Amsterdam に移す。		ly, 18-20. Montessori, M. (1929). Education of mentally defective children [Lecture given in Barcelona, Spain, 1929]. Montessori, M. (1929). <i>The Montessori didactic apparatus</i> . New York: House of Childhood.
1930年1月		AMIのイギリス支部が発足(従来の London Montessori society の会員が移籍した)。		インドのガンジーがローマのモンテッソリクラスを訪問。
1月30日 ～6月		イタリア政府主催(教育大臣 Signor Giuliano、政府高官および Opera Montessori 後援)で、第15回国際教師養成コースを開講する。21カ国100名の受講生に、週3回の講義と70回の教具使用法の実演を行う。 モンテッソリは、Lili Roubiczek (Mrs. Braun) に音楽の実演指導で協力を依頼する。また、ウィーンで Roubiczek と共に活動してきた Elise Herbatschek にコースにおける音楽担当を一任する。		Montessori's Lecture: What your child better knows than you; Let your child keep his secret. Montessori's Lecture in London, 1930: Psycho-geometry and psycho-arithmetic.
1月30日		ウィーンの Roudolfs platz に新しい学校が開校される。2年がかりで計画、ドイツの Bauhaus 様式で Franz Schuster によって設計された。		W. Boyd (ed.), <i>Towards a new education</i> . London and New York: A. A. Knopf.に記載された Montessori, M. (1930)執筆箇所: The adult and the child, and The teacher's task, 106-112; The child's environment, 138-141; Geometry, 151-155; Psychological principles in education, 354-356.
6月末		バルセロナに戻り、60才の誕生を祝う。		
12月	60	ウィーンにて講演。通訳は、Lili Roubiczek (後に Dr. Sigismund Peller と結婚し、Lili Peller となる)*。		*ウィーンでの精神分析と教育を関連づけた Anna Freud、Eric Erikson、Robert Waelder、Peter Blos、Fritz Redln のグループに属していた彼女の尽力により、モンテッソリは、精神分析学者 Anna Freud、Sigmund Freud、Freud の弟子でロンドンで精神分析医として開業した Willi Hoffer の妻となった Frau Schaxel と出会う。
1931年				1930年に軍事政権が追放され、1931年君主制も崩壊し、スペインに民主共和国が樹立され、スペインのモンテッソリ運動に対する政府援助の更新が約束された。
1月～6月		ローマで第16回国際教師養成コースを開講する。イタリア、イギリス、アイルランド、スウェーデン、デンマーク、オランダ、スイス、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、ポルトガル、リトアニア、ルーマニア、インド、アルゼンチン、チリの受講生。		Montessori, M. (1931). An environment for the child, 783-784; Ideals and facts in education, <i>Saturday Review</i> , 152, 711-712.
2月		ローマで新刊のモンテッソリ雑誌 <i>Revista Montessori</i> が発刊される。		Monessori, M. (1931, Oct.-Nov.). Adult and child in modern education, <i>The Sower</i> , 8-11.
末	61	パリ大学医学部教員対象に講演を行う。後に Montessori Association of France 会長となる Anna Marie Bernard (劇作家 Jean-Jacques Bernard の娘) が、花束を贈呈する。		Montessori, M. (1932). Education of defective children, <i>Saturday Review</i> , 153, 7(1). Montessori, M. (1932). New method in education, <i>Saturday Review</i> , 153, 64(1).

1932年 夏  
～8月初旬

New Education Fellow 新教育協会の会議と関連して、第2回 International Montessori Congress が、ニースで開催される。

音楽教具の使い方の実演を依頼されていた Lili Roubiczek (Mrs. Braun) と労使共同体の一角が、ウィーンからローマのモンテッソリの元へ。Lili Roubiczek (Mrs. Braun) の夫と数学の具体化について語る

ドイツに1922年1校だったモンテッソリ・スクールは、1932年には34校、うち18校がベルリンに開設。

Montessori, M.(1932). *Peace and education*. Geneva, Switzerland: Hr. International Bureau of Education.

ジュネーブ(1932年)、ブリュッセル(1936年)、およびコペンハーゲン、ユトレヒトなどの平和会議に出席し、Educazione e Pace と題する講演を行う。これらの講演は後に *Educzione e Pace (Education and Peace)* としてイタリア語で出版され、英語版も出版された。

Montessori, M.(1932). *The Mass explained to children (La Santa Messa spiegata ai Bambini)*. London & NY: Seed and Ward.米国での出版においては改題、*The Mass explained to boys and girls: Adapted for use in American schools*. Chicago: William H. Sadlier Inc.

Montessori, M. (1932). The social question of the child. In *Conference of Education Associations Report of the 20th Annual Conference*, 298-304, London: Conference of Education Associations (4).

Montessori, M. (1932, Sept.). Disarmament in education, *New Era*, 257-259.

1933年

63

ドイツのモンテッソリ・スクールが閉校となり、ベルリンの公共広場でモンテッソリの肖像画や著書が焼却される。

夏

ドイツで開催予定が政治情勢のため取り消しとなり、アムステルダムで Dutch Montessori Society 主催による第3回 International Montessori Congress 開催。講演題目「人類の精神的再生」The Spiritual Regeneration of Man.

1930年中頃には、Neitherlands Montessori Society は、約1000人の会員、200校・在籍児童6000名となった(アムステルダム、ロッテルダム、ハールレムには公立学校)。

秋～冬

ロンドンで第19回国際教師養成コースを開講する。ダブリンでも開講する。スペイン政府による Barcelona International Montessori Course が開催され、3大陸17カ国から200名の参加者。近代国家の官僚、政府の教育担当官が参列。バルセロナの二つの大学が提供され、講義と実演を行った。

Montessori, M. (1933). Montessori's Lecture: *The meaning of adaptation; The two natures of the child & the meaning of adaptation*. AMI  
Montessori's Lecture: Rules for the teachers of young children in the "Children's House."

1934年

64

ローマでのモンテッソリ・スクール閉鎖を前にして、最後の第4回 International Montessori Congress を開催する。スイスのルソー研究所モンテッソリ・スクール監督者 Jean Piaget も出席し、帰国後スイスモンテッソリ協会会長となる。\*1920年代ジュネーブの Jean-Jacques Rousseau 研究所の修正されたモンテッソリ・スクールで、子ども達を観察し考察を行った。

1934年、Bacerona で、*Pisco Arimetia*、*Psico Geometrica* の雑誌刊行(1971年ミラノで新版刊行)

メソッドのさらなる応用として2本の論文、1934年にスペイン語で公表された「算数の心理」*Pisco Aritimética*、「地理の心理」*Psico Geometría*、「文法の心理」*Pisco Gramática* (未出版)。

Lili Roubiczek (後に Dr. Sigismund Peller と結婚し、Lili Peller となる) は、オーストリアを去り、エルサレムを経てアメリカへ。1940年～1966年まで精神分析家として開業し、児童の発達と早期幼児教育について教えたり著述したりした。

1934年会議立案の頃、モンテッソリとムッソリーニとの間に摩擦が生じ始めていた。

1月初旬

1933年開講されたダブリンコースを終了

1月	ロンドン大学、第22回 Annual Conference of Educational Association*	* Montessori's Lecture : Spiritual regeneration of man. In Conference of Educational Associations Report of the 22nd Annual Conference, 171-176, London: Conference of Educational Associations (4).
1935年9月13日	ロンドンの修道院にて講演。	Montessori's Lecture: Man's place in creation.
10月16日	Trinity College で Cambridge Education Society において講演。	Montessori's Address: The psychology of mathematics, Supra nature.
1936年 春	ブタペスト訪問中に Elise Braun が女兒を出産したため、ウィーンに立ち寄る。	1920年代30年代は初等中等学校に関心を寄せた。インド滞在中の1940年代に、1913年頃にすでに関心を抱いていた乳児に集中的関心を寄せる。
7月	スペインを脱出し、英国へ亡命する。	バルセロナ新政府は外電で6000人の子どものためにモンテッソリ・スクールを150校開く計画を発表したため、モンテッソリ脱出は不可解とされる。
8月初旬	英国で最初の第5回 International Montessori Congress が、オックスフォードで開催される。演題「社会における子どもの地位」 <i>The child's place in society</i> *。南アフリカ、インド、ヨーロッパ各国から200名の代表者が参加。中等学校段階、青少年の教育にまで理論を延長する旨を語る（後に、 <i>The erdkinder</i> 等として出版される）。	会議中に出版された Montessori (1936). <i>The secret of childhood</i> (B. Bbarclay, Trans.). London: Longmans Green & Co.& NY: Frederick A. Stokes and Co.
	AMI は、子どもの精神的な福祉の国際同盟のために、世界中の政府に提出する社会計画を立案をするモンテッソリの意向を発表した。	* Montessori, M. (1936). The child's place in society. In <i>Conference of Educational Associations Report of the 24th Annual Meeting</i> , 41-45, London: Conference of Educational Associations (6).
	イギリス教師養成コース受講生でオランダの銀行家の娘 Ada Pierson の薦めにより、オランダのピルソン家に移住。 ベナレスやマドラスの大学学長・教育大臣を歴任したインド著名人であり、1934年神知学協会会長に就任した George Sydney Arundale と夫人の Rukmini Devi がモンテッソリを訪問する。(1938年の訪問の際にはインドへ勧誘する。)	
末	67 Montessori Society が設立され、モンテッソリは毎年5カ月間の講義を行い、それ以外は、各国での講演・会議の準備・協会活動の監督継続した。AMI 本部がアムステルダムに移動し、モンテッソリ運動の本拠地となる。 オランダの Laren にモンテッソリ・スクール（メソッドの更に進んだ実験のための研究室として計画）、教師養成と情報普及のための教師養成センターが設立される。	
1937年3月3日	第22回 International Montessori Course の傍ら修道会でのコースを開講する。	Montessori's Lecture: untitled (On religious education). Montessori's Lecture: Deviation, The child at the age of seven.
8月	第6回 International Montessori Congress が Copenhagen で開催される。課題は Education for Peace。20カ国以上200名以上の聴衆（フランスの Edouard Herriot、チャコスロバキアの Tomas Masaryk、国際連盟 League of Nations の支持者。イタリア、ドイツ、ソ連の代表はいなかった）。閉会において、各国の国会議員代表者は、子ども期と権利を守る社会的組織を設立することを提案し	Montessori' Lecture: My method. * Montessor, M. (2004). <i>The permanent relevance of Maria Montessori's plea; including the UN Declaration of the rights of the child</i> . AMI. * Montessori, M. (May, 1941) A step forward towards the future: The social party of the child, <i>The Theosophist</i> .

年代	年齢	事 項	主だった著書・論文・その他の事項
1937 年		た*。モンテッソリは、人類、社会、子どもなど世界平和や社会制度の改革など大きな問題に関して発言し、注目を集めるようになった。	
1938 年 夏	68	第 7 回 International Montessori Congress が英国 Edinburgh で開催される*。  アムステルダムでは、第二回目の国際教師養成コース international training course を開催（これ以降、戦後までオランダで開催されることはなかった）  ソルボンヌ大学で講演。道徳的な改革をとおして平和を達成する教育システムを訴える。	* Montessori, M. (1938). Moral and social education, <i>AMI Communications</i> (4), 15-19.  1934 年オーストリアの政治情勢の影響によってモンテッソリ・スクールの存続危機となるが、Dr. Ernst Buschbeck の努力により、1938 年までは存続できた。ドイツによるオーストリア併合により、ウィーンは第三帝国に吸収され、モンテッソリ運動は終焉。弟子の Elise Braun の家族は、インドの旧友 Kitty Shiva Rao の助いで、インドの Benares へ行き、Braun 夫人は、モンテッソリクラスを担当する。
11 月 18 日		第 1 回オランダ Laren でのモンテッソリ養成コースを開講する。	Montessori's Lecture: Lesonde silence (The lesson of silence).
12 月			Braun 夫人はマリオモンテッソリから、インドへ行く計画を伝える手紙を受け取る。
1939 年 2 月		University of Madras にて講演を行う。	
3 月		イギリスへ再度戻り、ロンドンでの集会で児童教育について講演*。	* Montessori, M.(1939, Mar.): The four planes of education, <i>AMI Communications</i> (2-3), 4-10 (6).
7 月 28 日		ロンドンでの世界宗教友好協会  24th International Course in London  British Montessori Society の第 27 回 Annual meeting を開催*。	Montessori's lecture: Peace for education.  Montessori's Lectures: Child and society, The child's instinct to work, The cosmic task of man, Evolution and the child, Fragments, Primitive man and the child, The second plane of education.  * Montessori, M. (1939). The functions of the university, In <i>The Report of the 27th Annual Meeting</i> , British Montessori Society, 377-385. London: British Montessori Society (5).
9 月 1 日		第二次世界大戦勃発	Montessori, M. (1939). <i>The reform of education during and after adolescence</i> . Amsterdam, Holland: AMI.
10 月	69	アムステルダムにて、国際養成コースを開催する。 オランダを去り、インドへ。	* 早期において Annie Besant が、モンテッソリ・メソッドを評価していたことを知る。第一次世界大戦～バルセロナ移住まで、ローマに Dr. Besant が訪問する度に親交を深める。Dr. Besant は、神知学協会 Theosophical Society 第二代会長（1907 年～1933 年）を務める。

11月～1940年 1月31日	計画した Theosophical Society の本拠地であるインドの Madras の Adyar において、モンテッソリ教師養成コース 3ヶ月を開講する (秘書 K. Sankara Menon)。神知学協会の欧州人地区に居住、コース開催。インドから 100 人の教師と実習生が参加。	Montessori, M. (1940). One can never hear it too often [Lectures in London and India, 1927], <i>AMI Communications</i> (4), 23-24.
1940年6月	イタリアがドイツに参戦したために英国は植民地に在留しているイタリア人を抑留した。Mario は Amerdnagar 収容所、モンテッソリは Adyar の神知学協会居留地に監禁された (モンテッソリ女史のみ、Ooty, Kodaikanal の高原避暑地で夏を過ごすことが許可される)。* イギリスでは、 <i>The Times</i> (London), (1940, June 15)に Claude Claremont がモンテッソリの釈放を求める寄稿文掲載。	この間、Madras と Kodaikanal にある神知協会本部で養成コースを開講した。カシミールのマハーラージャの援助で Karachi と Srinaga において、裕福な慈善家 Mrs. Sarala Devi Sarabhai の後援で Amedabad, Gujarat においてもコース開催。夫人は Shreyas という学校を創設。産業資本家 G. D. Birla の援助により、Montessori society が Pilani Rajasthan に設立。Rukmini Dev によって Besant School in Kalakshetra モンテッソリ部門が開設。
8月31日	インド総督の配慮により、Mario Montessori が解放される。	
1941年～1942年	Adyar にある Theosophical Society の Theosophical Garden Campus において、講義。	Montessori's Lecture: untitled (Protection against exploitation of children). Montessori's Lecture: untitled (Work as an anthropological necessity).
1942年		Montessori. The voice of Dr. Maria Montessori: Lectures Madras (recorded by Joy Hardinge), India 1941-1942. Montessori's Lecture: On the principles of the Montessori school. Jan. 30.
1943年	The Theosophical Society で講義を行う。	Montessori (1941). <i>The child</i> . Adyar, Madras, India: The Theosophical Publishing House. Montessori (1948). <i>Reconsturction education</i> . Adyar, India: The Theosophical Publishing House.
1944年	74 Ahmedabad において、生後 3 カ月に関する講義を 30 回行う。Ceylon 政府承認の下で、コースを開講する。	Montessori, M. (1943). Montessori's Lecture: <i>Peace and education</i> . Adyar, India: The Theosophical Publishing House.
3月29日	インド Kodaikanal において、上級養成コースを開講。	
1945年9月2日	第二次世界大戦終結	
12月末	75 the first All India Moantessori Conference が、Jaipur で開催される。	Montessori's Lecture: To the students of her advanced course. インドへ誘った Dr. Arundale 1945 年に死去。
1946年1月	ヨーロッパに帰国しロンドン教師養成コースを秋に再開する計画を立て始める。	Montessori's Address: Cosmic education.
7月30日	オランダに戻り、Pierson 家に預けられていた孫と会う。	モンテッソリは、西欧諸国での乳児の慣例的な扱いが良くないと語る。
9月初旬	オランダからロンドンへ向かう。Phoebe Child と Margaret Homfray が出迎える。	
9月?～12月	再度、ロンドンへ向かう。ロンドンの International Montessori Course を開催する。Miss Homfray によるとモンテッソリは英語で講演した。	

年代	年齢	事 項	主だった著書・論文・その他の事項
1946年		スコットランドへ向かい、Education Institute of Scotland Honorary Fellowship を叙せられる。	1936/1939年のLarenでのイタリア語での講義内容(Door het Kind naar een nieuwe wereld, Holland, 1941)を、Education for a new world. Madras, India: Karakshetra, 1946年として再版する。(コダイカナルでの上級教師養成コースで行った講義をまとめた冊子)  Montessori's Lecture: Observation and development
1947年1月4日		アムステルダムで、モンテッソリの最初の子どもの家開設40周年を祝う。	Montessori's Lectures: The miracle of man's growth, The potential greatness, The problem of peace and understanding. Maccheroni, M. A. (1946). <i>A true romance: Dr. Montessori I know her</i> . Edinburg.
1月		モンテッソリとMarioは、ロンドンにMontessori Centerを創設し、モンテッソリが不在の時は、Phoebe ChildおよびMargaret Homfrayを代理を務めた。  イタリア政府の招待でイタリアに帰り、Opera Montessoriを再度設立する。モンテッソリ・スクールの再編成を援助する。ローマ大学で講演を行う。5月、イタリア国民議会 Constituent Assembly of Italian parliament は歓迎表明。  UNESCOで講演する。Montessori's Address: Education for peace.	後に、St. Nicholas Training Centerと改称する。1973年8月に、修了証の発行に名前の使用を許可しないことを発表する。  講演題目「教育と平和」(Maria Remiddiが書き留めた) Maria Remiddi, "Vision of Mankind Transformed: Maria Montessori and Education for Peace," <i>The UNESCO Courier</i> , April 1964, p. 16
7月		Marioは、Ada Piersonと再婚する。	Montessori's letter addressed to all governments: Internationally year of the child.
8月	78	ベルリン大学の教授職を辞し、Marioと共に英国経由で、インドAdyarへ戻る。  Mrs. Arundaleは、亡きDr. Arundale記念してKalakshetraにモンテッソリ教師養成センターを設立した。1947年秋に、神知学者か否かの質問に対し「私は、Montessorianです」と記者に返答。子どもの形成期について、6歳以下をthe child's "age of formation"、7歳~12歳(自然界のすべてのものの相互依存を把握する時期)を"cosmic education"と称した(Time Magazine, Oct. 20, 1947)。	Adyarの養成コースにはインド各地から学生が集まっていた。GandhiとYagoreから挨拶があり、正式にモンテッソリ・スクールの設立したインド新国家5州から報告。モンテッソリは、養成コースのないときは、South Indian Teachers Union、Madras Teachers Guild、婦人会議、ボーイスカウトのグループ、カトリック団体組織、新設の大学で巡回講演。  Montessori, M. (1947, Sept.). Education for a new world [Based on lecture to Educational Institute of Scotland, Nov. 9, 1946. <i>The Montessori Magazine</i> , 1(4), 4-10.
1948年2月末		アーマダバードとボンベイに講演旅行。アーマダバードでは養成コースも開催した。	インド新国家に、成人の読み書きを効率的に教える教具や方法を助言した。

- 11月 インドにおいて第10回養成コースを、Adyarで2度目の養成コース開催後、Poonaにおいて開講する。  
Gwaliorで、12才までのモンテッソリ・モデルスクール設立を指導する。  
Colombo Montessori Training Center 付属校を訪問する。
- Montessori, M. (1948, Apr.). The unconscious in history, *Montessori Magazine*, 2(2), 67-75.
- Montessori' Inaugural Address: Man know thy wealth. Montessori, M. (1971). Man know thy wealth [Inaugural address of the 10th Indian Montessori Training Course, Poona, Nov. 8, 1948], *Around the Child*, 14, 3-7.  
1941年1942年に初版1948年神知学出版者で再発行された『子ども』『教育の再建』
- 1948年6月に、All India Radioのマドラス局から放送した12の講話をインド政府情報書が出版：  
Montessori, M. (1948). *Child training*. [Twelve talks broadcast from the Madras Station of All India Radio]. Delhi, India: Government of India, Publications Division, Ministry of Information and Broadcasting.(Kalakshetra Publications).
- Education for a new world* 1936年～1939年にLarenで行ったイタリア語の講演は、オランダ語に訳され1941年にオランダで出版 *Door her kind naar een nieuwe wereld*。オランダとイギリスで行われたイタリア語の講演をもとにした *The erdkinder, The reform of education during and after adolescence, The function of the university* は、1939年にアムステルダムで出版され、1948年にフランス語訳されたものを1973年に『子どもから青年まで』として再出版された。
- Montessori, M. (1949, Jan.). The problem of illiteracy, *The Montessori Magazine*, 3(1), 5-11.
- 1949年4月 78 Pakistan 新政府の招聘を受け、KarachiのTheosophical Society Hallにおいて、1カ月養成コースを開講する(助手Marioと母親がオランダでモンテッソリ運動を支援し生徒でもあったAlbert Joosten)。  
滞在中に、Montessori Pakistan Associationを設立する。
- Montessori's Lectures in Ceylon in 1948:  
Montessori, M. (1948). *What you should know about your child*. Colombo, Ceylon: Bennet & Co.\* 受講生のGhana Prakasamによって記述された。  
Montessori's Lecture in London: To help life.  
The Montessori methodの改訂版：  
Montessori, M. (1948). *The discovery of the child*. Madrad, India : Theosophical Publsihing House.  
Montessori, M. (1948). *To educate the human potential*. Adyar, Madras, India: Kalakshetra Publications.
- 5月末 アムステルダム、イタリア、フランス、オーストリア、イングランド、スコットランドを訪問予定のため、ヨーロッパに出発する意向を表明する。
- Montessori, M. (1949). *The absorbent mind* (C. A. Claremont, Trans.). Adyar, India: Theosophical Publishing House.\* 初版は養成コースの講義を下手な英語でまとめたものであったため、モンテッソリが後にイタリア語で書き直し、Claremontによる英訳版が出版。
- 8月22日～29日 イタリアのSan Remoにおいて開催される第8回International Montessori Congressに参加する。演題：Formazione dell'Uomo nella Ricostruzione
- Montessori, M. (1949). *The San Remo Lecture*, AMI. に、次の4つの講演が監修されている。Lecture 1 The creative capacity of early childhood, 3-9;

年代	年齢	事項	主だった著書・論文・その他の事項
1949年		Mondiale。各国から、様々な宗教（カトリック、クウェーカー、ヒンズー、仏教）、教師や心理学者 500 名が参加する。インドから大派遣団。25 名の子どもたちによる実践公開：腰の高さの壁に囲まれた八角形の 2 部屋で、地理・植物・比較解剖・幾何の基礎概念に関連する新たな教具を含むモンテッソリ教具を使用した。	Lecture II Human solidarity in time and space, 10-18; Lecture III The absorbent mind, 19-31; Lecture IV World unity through the child, 32-40.
		1949 年度ノーベル平和賞にノミネートされる。 (1950 年度 1951 年度もノミネートされる)。	Montessori, M. (1949). <i>The unconscious in history</i> . Adyar, Madras, India: Theosophical Publishing House.
12月		パリに招待され、ソルボンヌ大学学長からフランス共和国の名において Cross of Legion of Honor を授与される。賞賛の祝辞に対して、即興で演説をする。レセプションにおいて、フランスの文化交流長官、イタリア大使、ユネスコ事務局長、社会主義指導者 León Blum から祝辞を受ける。	Montessori, M. (1949). Untitled radio broadcast. <i>AMI Communications</i> (4), 3-4.
		パリのモンテッソリ・スクールを見学する。戦後、劇作家 Jean-Jacques Bernard 夫妻と彼らの娘により、モンテッソリ運動が再開されていた。	Montessori's Notes for the Paris Conference: Teachers and the realization of the democratic ideal.
1950年		ノルウェー、スウェーデンなどのスカンジナビア諸国へ講演訪問する。	
4月上旬		アムステルダムにて、西欧・インド・セイロンなど 13 カ国約 300 名が参加、会議開催。	
4月15日		World Radio のインタビューを受ける。	
6月		フィレンツェの Florence で開催される UNESCO 会議へのイタリア代表団の一員となる。総会で事務局長 Jaime Torres Bode t より賞賛の辞を受ける。	Montessori, M. (1950). Nursery schools and cultural environment. [London] <i>Journal of Education</i> , 92(3), 655-657.
夏	80	イタリアに戻り、University of Perugia の International Center for Educational Studies で講演する。同大学教授職を授与される。同センター主事、Perugia の名誉市民となる。市長、大司教、学長が参列。	Montessori, M. (1950, Jul.). Montessori children: Orestes, <i>The Montessori Magazine</i> , 4(3), 46-49.
		ペルーシアでの養成コース終了後、訪問した出生地 Ancona、さらに Milan の名誉市民となる。	Montessori, M. (1950, Oct.). Broadcast by Dr. Maria Montessori, <i>The Montessori Magazine</i> , 4(4), 61-63.
秋		University of Amsterdam から 名誉学位 Docter Honoris Causa、オレンジーナサウ勲章 Order of Orange-Nassw を授与される。	Montessori, M. (1950, Oct.). Peace and education, <i>The Montessori Magazine</i> , 4(4), 7-20.
1951年5月		ロンドンにおいて、AMI 企画による第 9 回 International Montessori Congress を開催する。17 カ国 150 名の参加者。題目：Education as an aid to the natural development of the psyche of the child from birth to university.( <i>The Times</i> , May 18, 1951).	Montessori, M. (1963). The child our master [Concluding address at the 9th International Montessori Conference, London, May19, 1951], <i>Around the Child</i> , 8-1-4.
夏		オーストリアのチロルを訪問する (1930 年代初頭以降初めての訪問)。	

7月～8月	インスブルックで養成コース開催	Montessori, M. (1951). Intordution to a method for teaching reading and writing to adults. AMI. Montessori's Lecture: Prima conferenza sull' adolescenza (On the schooling of young people)
	イタリアへ発ち、オランダに帰国する前に、ローマで一連の講演を行う	Montessori, M. (1951, Oct. 31). <i>The Forgotten Citizen: a message to UNESCO on the occasion of the third anniversary of the Decaration of Human Rights</i> . AMI.
1952年5月5日	英国に創立された Catholic Montessori Guild の第1回会議でのメッセージを書きあげる。	Montessori, M. (Oct., 1952). Nursery schools and cultural environment, <i>Catholic School Journal</i> , 52 (8), 524.
1952年5月6日	81 オランダの Noordwijik aan Zee において、脳溢血で逝去。	Montessori, M. (1952). Echoes from the past. 遺言書簡 <i>AMI Communications</i> , 1953, Jan./Feb.
	モンテッソリの自宅 (Amsterdam Koninginneweg 161) は、女史の死後、AMI 本部および記念館となる。	Montessori, M. (1973). <i>From childhood to adlescence (The Erdkinder および The functions of the university を含む)</i> . New York: Schocken Books.

## 付記：

この年譜は作成過程にあり、今後、さらなる改訂が必要視されるものである。前述したような文献に関する初歩的な問題に加え、モンテッソリ自身による自叙伝が残されていないこと、伝記関連の文献が少ないこと、モンテッソリ自身の著した原稿ではなく受講生などの記録(通訳を通した内容の聞き取り)であること、初期の文献に関しては入手不能な文献があるなど、年譜作成に関しては多くの困難が生じている。今後、文献調査の進展に伴った改訂を試みていくつもりである。文献出典、事項などに関する多くの遺漏と誤謬については、ご叱責とご教示を賜りたい。

## 注

### 年譜作成主要文献

- 甲斐仁子 (1986) 「モンテッソリ年譜」九州女学院短期大学紀要 第11号 pp.61-99.  
AMI (1970). *Maria Montessori: A centenary anthology 1870-1970*. Amsterdam: AMI.  
Boehnlein, M. M. (1986). *The NAMTA Montessori bibliography addendum and update; A bibliography of sources in the English language, 1909-1986*. Cleveland, OH: NAMTA.  
Boehnlein, M. M. (1994). The NAMTA Montessori bibliography 2nd edition: A bibliography of sources in the English language, 1909-1993, *The NAMTA Journal*, 19(3).  
Fleege, V. B. (1965). *Montessori index*. (ERIC No. ED035435).  
Kramer, R. (1983). *Maria Montessori: A biography with a foreword by Anna Freud*. New York: The University of Chicago Press. (1976, New York: Putnam).  
Macccheroni, A. M. (1947). *A true romance: Dr. Maria Montessori as I knew her*. Edinburgh.  
Smart, J. E. *Maria Montessori 1870-1952 'The origins of Montessori.'* AMI.  
Standing, E. M. (1962). *Maria Montessori: Her life and work*. New York: A Menter Book. (1957, London: Holis & Carter Ltd.) (1959, Fresno, CA, USA: Academy Library Guild)  
Waltuch, M. R. (1986). *A Montessori album*. Cleveland, OH: NAMTA.  
アンナ・マッケローニ著 (川幼児教育研究会訳) (1979) 『モンテッソリ博士との出会い』 エンデルレ書店。  
E. M.スタンディング著 (クラウス・ルーメル監修・佐藤幸江訳) (1975) 『モンテッソリの発見』 エンデルレ書店。  
リタ・クレマー著 (平井久鑑訳, 三谷嘉明・佐藤敬子・村瀬亜里訳) (1981) 『マリア・モンテッソリ 子どもへの愛と生涯』 新曜社。

### 年譜作成参考文献 (モンテッソリ著作)

- Montessori, M. (1913). *Pedagogical anthropology (L'Antropologia pedagogica)* (Frederic T. Cooper, Trans.). London: William Heinemann. (1913, New York: F. A. Stokes Company) (御茶ノ水女子大学図書館蔵)  
モンテッソリの最初の著作とされる *The Montessori method* より出版年代は遅いが、ローマ大学での講義内容が掲載されており、日本モンテッソリ協会元会長クラウス・ルーメル氏が指摘するように、この著作が女史の最初のものであると考えられる。クラウス・ルーメル (1976)。モンテッソリ著「教育人類学」における「規範」概念の歴史的背景、『モンテッソリ教育』第9号, pp.32-41。  
Montessori, M. (1912). *The Montessori method: Scientific pedagogy as applied to child education in "The Children's Houses"* with introduction by J. McV. Hunt (A. E. George, Trans.). New York: Schocken Books. (1912, New York: Frederick A. Stokes)  
Montessori, M. (Joy Hardinge, ed.) *The voice of Dr. Maria Montessori: Lectures Madras, India 1941-1942*. NJ.  
Montessori, M. (1965). *Dr. Montessori's own handbook* with introduction by Nancy McCormick Rambusch. New York: Schocken Books Inc. (1917, New York: F. A. Stokes Company, Inc.; India: Kalakshetra Publications) (1914, London: W. Heinemann) (1966, New York: Robert Bentley, Inc.)  
Montessori, M. (1965). *Spontaneous activity in education: The advanced Montessori method* with introduction by John J. McDermott. (Florence Simmonds, Trans.). New York: Schocken Books Inc. (1917, New York: F. A. Stokes Company Inc.; India: Kalakshetra Publications) (1914, London: W. Heinemann)  
Montessori, M. (1965). *The child in the church* edited and editor's foreword by E. M. Standing. St. Paul,

- Minnesota: Catechetical Guild. (1929, London: Sands & Co.; St. Louis: B. Hender Book Co.)
- Montessori, M. (1966). *What you should know about your child*. India: Kalakshetra Publications Press. (first printing in 1961) (1948, Colombo, Ceylon: Bennet & Co.)
- Montessori, M. (1967). *The absorbent mind*. (Claude A. Claremont, Trans.). New York: Holt, Rinehart & Winston; New York: A Delta Book. (1949, Madras, India: Theosophical Publishing House)
- Montessori, M. (1970). *The child in the family* (Nancy R. Cirillo, Trans. from *Il bambino in famiglia* published by Garzanti Editore, Italy) (1956, Chicago: Henry Regener Co.)
- Montessori, M. (1972). *The secret of childhood*. (M. Joseph Costelloe, Trans. from *Il segreto dell'infanzia* published by Garzanti, Milan, Italy). New York: Ballantine Books. (1936, London: Longmans, Green & Co.) (1939, New York: Frederick. A. Stokes)  
最初の英語訳者は、B. Barclay の名が記されている。
- Montessori, M. (1973). *The Montessori elementary material; Volume 2 of the advanced Montessori method*. (Arthur Livingston, Trans.). New York; Schocken Books Inc. (1917).
- Heleh Parhurst and Emily H. Greenman が<sup>3</sup> Arithmetic, Geometry and Drawing の箇所の英訳に携わっている。また、上記 2 作に関するその他の英語の翻訳者として L. Hutchinson があげられている。
- Montessori, M. (1973). *To educate the human potential*. Madras, India: Kalakshetra Publications Press. (first printing in 1948)
- Montessori, M. (1973). *The discovery of the child*. (M. Joseph Costelloe, S. J., Trans. from *La scoperta del bambino* from Milan, Italy: Garzanti, 1962). New York: Ballantine Books. (1948, London: The Theosophical Publishing House)\* *The Montessori Method* の改訂版。
- Montessori, M. (1973). *From childhood to adolescence; Including Erdkinder and the functions of the university*. (Trans. from the French by The Montessori Educational Research Center; Trans. revised by A. M. Joosten, Director, Montessori Training Center of Minnesota). New York: Schocken Books. (1948, Madras, India: Kalakshetra Publications)  
Mario Montessori の序文によると 1930 年代のオランダでの講演をまとめたものとなっているが、Rita Kramer によれば、1920 年アムステルダム大学での講演内容を 1939 年に AMI が発行し、それを 1973 年に再版したものである (年譜表参照)。
- Montessori, M. (1974). *Education for a new world*. Madras, India: Kalakshetra Publications. (first printing in 1946)
- Montessori, M. (1975). *Peace and education*. Adyar, India: The Theosophical Publishing House. (1932, Geneva, Switzerland: Hr. International Bureau of Education) (The Theosophical Publishing House, 1943)
- Montessori, M. (1975). *Reconstruction in education*. Adyar, India: The Theosophical Publishing House. (first printing in Feb., 1942)
- Montessori, M. (1979). *The child*. Adyar, India: The Theosophical Publishing House. (first printing in Dec., 1941)
- Montessori, M. (1979). *Spannungsfeld Kind-Gesellschaft-Welt*. Auf dem Wege zu einer Kosmischen Erziehung (Trans. Günter Schulz-Benesch, Trans.). Freiburg, Basel, Vienna: Verlag Herder. 『子どもと学校の危機 社会—学校—世界』(シュルツ=ベネッシュ編 クラウス・ルメール・江島正子共訳 エンデルレ書店)。
- Montessori, M. (1995). *The child, society, and the world; unpublished speeches and writings*. The Clio Montessori Series, Oxford, England: Clio Press Ltd.  
この著作は、20 本のモンテッソリ講義を 6 つの内容に収集したものである。出典に関する原題・言語・場所などに関する事項が付録として記載されている (p.116-p.119)。これによると、講演・講義・ラジオ番組などが大半であり、イタリア語およびフランス語で行われ、それを英語に通訳したり翻訳したものである。公的に記録がとられていたのでもなく、記録者不明も多く、さらに、訳者不明のものもある。ドイツ語で出版されたのが最初であり、日本語に訳され出版されている。

#### 年譜作成関連参考文献

- Culverwell, E. P. (1913). *Montessori principles and practice*. London: G. Bell & Sons.
- Fisher, D. C. (1965). *Montessori for parents*. Massachusetts: Robert Bently, Inc.初版は異なる題名で出版された。Fisher, D. C. (1912). *A Montessori mother*. New York: Henry Holt & Company.

- Fisher, D. C. (1966). *The Montessori manual for teachers and parents*. Massachusetts: Robert Bentley, Inc. (1913, New York: The W. E. Richardson Co.) (御茶ノ水女子大学図書館蔵)
- Fynne, R. J. (1924). *Montessori her inspires*. London: Longmans Grenn and Co. (御茶ノ水女子大学図書館蔵)
- Kilpatrick, W. H. (1971). *The Montessori system examined*. New York: Arno Press & The New York Times. (1914, Boston: Houghton Mifflin Company)
- Leone, B. (1978). *Maria Montessori; Knight of the child*. Minnesota: Greenhaven Press.
- Smith, T. L. (1912). *Montessori system in theory and practice*. New York: Harper & Brothers Publsihers. (御茶ノ水女子大学図書館蔵)
- Ward, F. E. (1971). *The Montessori method and the American school*. New York: Arno Press & the New York Times. (1913, New York: The Macmillan Company)